
令和3年度 第1回岩手県大規模事業評価専門委員会

日 時 令和3年6月8日（火）13:30～16:30

場 所 エスポワールいわて 3階 特別ホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

加藤専門委員長

3 議 事

(1) 令和3年度専門委員会の開催スケジュール等について

(2) 大規模公共事業の事前評価について<諮問審議>

・地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道107号 白石峠（大船渡市、住田町）

(3) 大規模公共事業の再評価について<諮問審議>

・地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道397号 小谷木橋（奥州市）

・地域連携道路整備事業（地域密着型）主要地方道花巻大曲線 小倉山の2（西和賀町）

(4) 第2回専門委員会（現地調査）について

4 閉 会

岩手県大規模事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
加藤 徹	宮城大学 名誉教授	農業土木 農村計画	専門委員長
狩野 徹	岩手県立大学社会福祉学部 副学長	都市計画 建築計画	副専門委員長
小井田 伸雄	岩手県立大学総合政策学部 教授	経済学	(欠席)
島田 直明	岩手県立大学総合政策学部 准教授	植生学 環境生態学	
竹内 貴弘	八戸工業大学大学院工学研究科 教授	海洋工学 水工学	Web
松山 梨香子	一般財団法人岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築	Web
八重樫 健太郎	北光監査法人 公認会計士	企業会計	
山本 英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学	

(敬称略)

令和3年度第1回大規模事業評価専門委員会
配付資料一覧

- 資料 No. 1 令和3年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）
- 資料 No. 2 大規模事業評価諮問書（写）
- 資料 No. 3 令和3年度大規模事業評価地区 位置図（R3.6諮問）
- 資料 No. 4 大規模事業評価関係資料

【事前評価】

- ・地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道107号 白石峠
（大船渡市、住田町）

【再評価】

- ・地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道397号 小谷木橋
（奥州市）
- ・地域連携道路整備事業（地域密着型）主要地方道花巻大曲線 小倉山の2
（西和賀町）

- 資料 No. 5 令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程（案）

令和3年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）

1. 審議案件（予定）【3件】

【事前評価】

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道107号 白石峠【県土整備部】
（大船渡市、住田町）

【再評価】

- ① 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）国道397号 小谷木橋
【県土整備部】（奥州市）
- ② 地域連携道路整備事業（地域密着型）主要地方道花巻大曲線 小倉山の2
【県土整備部】（西和賀町）

※ 新たに事前評価や随時再評価の必要が生じた事業があった場合には、上記案件以外にも審議をお願いすることがあります。

2. 報告案件（予定）【1件】

【事後評価】

都市計画事業 広域公園整備事業【県土整備部】（盛岡市、雫石町）

3. 年間スケジュール（予定）

時 期	専門委員会等の内容	事前評価 (審議)	再評価 (審議)	事後評価等 (報告)	備 考
6/8 (火)	第1回専門委員会	○	○	—	事前評価/再評価 諮問審議 パブリックコメントの実施
7/19 (月)	第2回専門委員会(現地)	○	○	—	継続審議
8/19 (木)	第3回専門委員会	○	○	○	答申案審議 事後評価報告
9/15 (水)	第4回専門委員会	○	○	—	予備日
(令和3年) 2月上旬	第5回専門委員会	—	—	—	R4年度 スケジュール等

※ 現時点での予定であり、審議等の進捗状況に応じて、審議回数は増減する場合があります。

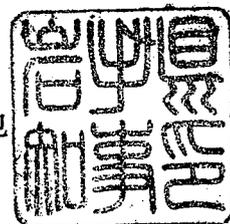
諮問書 (写)



政 第 4 3 号
令和 3 年 6 月 3 日

岩手県政策評価委員会
委員長 加藤 徹 様

岩手県知事 達 増 拓 也



大規模事業評価について（諮問）

政策等の評価に関する条例（平成 15 年岩手県条例第 60 号）第 10 条第 1 項の規定に基づき、別紙の大規模公共事業に係る事前評価及び再評価について意見を聴きたいので、評価調書を付して諮問します。

(別紙)

大規模事業評価対象事業一覧表

1 大規模公共事業 事前評価

番号	担当部名 担当課名	事業名	市町村名	事業計画			事前評価 の要件
				着手 年度	完了 予定 年度	総事業費 (百万円)	
1	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（ネットワーク 形成型）国道107号 白石峠	大船渡市・ 住田町	R4	R13	9,400	基本設計後

2 大規模公共事業 再評価

番号	担当部名 担当課名	事業名	市町村名	事業計画			再評価 の要件
				着手 年度	完了 予定 年度	総事業費 (百万円)	
1	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（ネットワーク 形成型）国道397号 小谷木橋	奥州市	H24	R6	12,000	②
2	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（地域密着型） 主要地方道花巻大曲線 小倉山の2	西和賀町	H14	R6	6,700	③

※再評価の要件：

- ① 事業に着手した年度から起算して5年度内に未着工の事業
- ② 事業に着手した年度から起算して10年度内に完了が見込まれない事業
- ③ 再評価を行った年度の翌年度から起算して5年度又は10年度内に完了する見込みがない事業（再々評価、再々々評価）
- ④ 事業の準備又は実施計画に係る調査に要する費用が予算に計上された年度から起算して5年度内に事業に着手する見込みがない事業（地域高規格道路及びダム事業に限る）
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、事業計画の重要な変更等により、再評価を実施する必要があると判断した事業（随時再評価）
- ⑥ 国の補助に係る事業の評価に関して国から別に指針等が示された場合で、当該指針等に従って評価を実施する必要があると判断した事業



令和3年6月3日

岩手県大規模事業評価専門委員会
専門委員長 加藤 徹 様

岩手県政策評価委員会

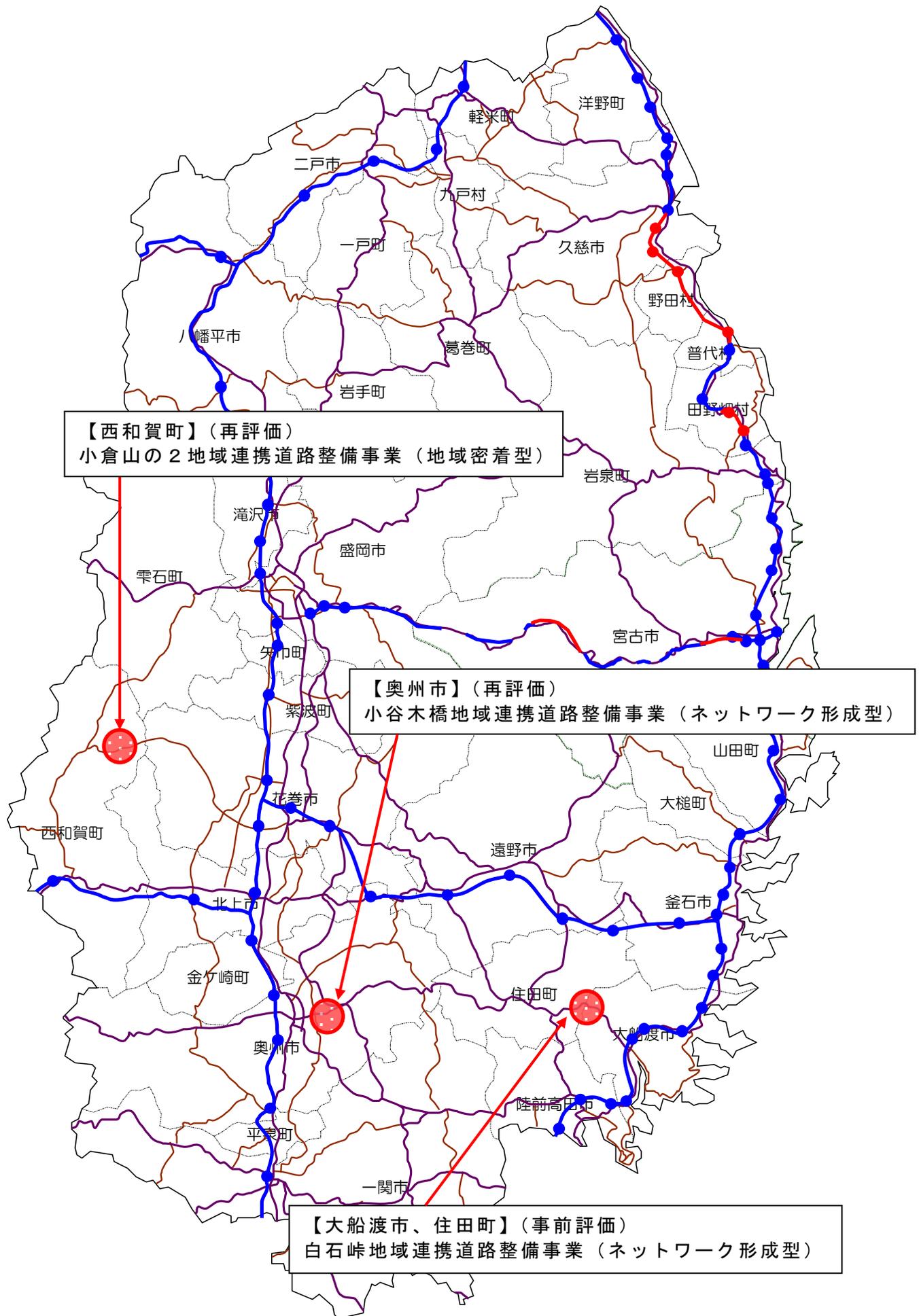
委員長 加藤 徹



大規模事業評価に係る諮問について

政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第10条第1項の規定に基づき、別添のとおり岩手県知事から、大規模公共事業に係る事前評価及び再評価について諮問がありましたので通知します。

大規模事業評価地区 位置図 (R3.6 諮問)



大規模事業評価関係資料

大規模公共事業 事前評価

番号	担当部局等	事業名	地区名等	ページ
1	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）	国道107号 白石峠	1-24

大規模公共事業 再評価

番号	担当部局等	事業名	地区名等	ページ
1	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）	国道397号 小谷木橋	25-43
2	県土整備部 道路建設課	地域連携道路整備事業（地域密着型）	主要地方道花巻大曲線 小倉山の2	44-62

大規模公共事業事前評価調書の概要

(^{しらいしとうげ}白石峠) 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）

担当部課：県土整備部 道路建設課

1 事業概要（路線名等：一般国道107号、所在市町村：大船渡市・住田町）

○事業目的：一般国道107号は、大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至り、沿線地域の住民の生活はもとより、災害に強い道路ネットワークの構築、物流、救急医療等において重要な役割を担う主要幹線道路である。

重要港湾である大船渡港と中枢中核都市である盛岡市や産業集積が進む県南地区を結ぶ物流路線であり、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。

岩手県地域防災計画においては緊急輸送道路（第1次路線）に指定されており、また、岩手県広域防災拠点配置計画における後方支援拠点を有する遠野市や北上市へアクセスする道路であり、東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」によりいち早く道路啓開され、内陸から沿岸部への救命・救援ルートとして機能したところである。

しかしながら、当該区間は急勾配区間が連続し線形不良箇所が多数存在することから速度低下や、スリップ事故等が発生しており、また、白石トンネルは幅員が狭く坑口部がカーブとなっていることから、大型車同士のすれ違いが困難であるなど走行上の課題が多いため、安全で円滑な交通の支障となっている。

このため、約2.3kmの長大トンネルの整備により急勾配、線形不良等の課題を解消し、災害時における緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援を図るものである。

○事業内容：計画延長2.7km、計画幅員6.5(9.0～9.5)m、トンネル2.3km、橋梁1橋

○事業期間：令和4年度～令和13年度

（用地着手予定：令和5年度、工事着手予定：令和6年度、供用開始予定：令和13年度）

○総事業費：9,400百万円

2 社会経済情勢等の状況

○「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため救急搬送ルートの整備、物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線の整備を進めることとしている。

○全国的な情勢としては、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組を重点的・集中的に進めている。

○当該区間の整備促進については、大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から強い要望がある。

3 自然環境等の状況

- 計画延長のほとんどがトンネルであり、土地の大規模改変は発生しないが、事業実施にあたっては、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとしている。
- 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。切土・盛土法面は植生緑化を行うこととする。

4 事業計画の妥当性

- 費用便益比（B/C）を算定した結果は、「1.4」（評価基準年度：令和4年度）であり、また、過去に実施した同規模のトンネル事業と比較し、費用が同程度となることから事業規模は妥当であると判断した。

5 総合評価

- トンネル整備により、急カーブ、急勾配が連続する峠区間の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保が図られる。
- 重要港湾である大船渡港と内陸を結ぶ物流上重要な路線であり、また、緊急輸送道路の第1次路線として、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。
- 「いわて県民計画」及び「岩手県国土強靱化地域計画」における政策目標に合致しており、災害に強い幹線道路の整備を推進することとなる。
- 大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から整備促進について強い要望がある。
- 事業実施にあたっては振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議及び現地調査を行い、環境に配慮して事業を進めることとする。
- 指標及び費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案等を検討した結果から妥当であると判断したものである。
- 以上のことから、本事業の目的を達成するためには、現時点での社会経済情勢等の状況などを検討した結果、本計画のとおり**の事業実施が妥当**であると判断したものである。

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)		(補助) 単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																						
路線名等	一般国道 107号	地区名	しろしとげ 白石峠	市町村	大船渡市・住田町																						
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																										
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 一般国道107号は、大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至り、沿線地域の住民の生活はもとより、災害に強い道路ネットワークの構築、物流、救急医療等において重要な役割を担う主要幹線道路である。 重要港湾である大船渡港と中枢中核都市である盛岡市や産業集積が進む県南地区を結ぶ物流路線であり、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。 岩手県地域防災計画においては緊急輸送道路（第1次路線）に指定されており、また、岩手県広域防災拠点配置計画における後方支援拠点を有する遠野市や北上市へアクセスする道路であり、東日本大震災津波の際には、「くしの歯作戦」によりいち早く道路啓開され、内陸から沿岸部への救命・救援ルートとして機能したところである。 しかしながら、当該区間は急勾配区間が連続し線形不良箇所が多数存在することから速度低下や、スリップ事故等が発生しており、また、白石トンネルは幅員が狭く坑口部がカーブとなっていることから、大型車同士のすれ違いが困難であるなど走行上の課題が多いため、安全で円滑な交通の支障となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 約2.3kmの長大トンネルの整備により急勾配、線形不良等の課題を解消し、災害時における緊急輸送道路としての機能強化、物流機能の向上、救急搬送の支援に資するものである。</p> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画延長：L=2.7km ・計画幅員：W=6.5 (9.0) m (トンネル東側区間) W=6.5 (9.5) m (トンネル西側区間) ・主要構造物：トンネル2.3km、橋梁1橋 <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急勾配、線形不良の解消：旧道延長3.5km <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業計画期間：令和4年度～令和13年度 (用地着手予定年度：令和5年度、工事着手予定年度：令和6年度) ○総事業費：9,400百万円 																										
社会経済情勢等	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組を重点的に進めることとしている。 <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため救急搬送ルートの整備、物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線の整備を進めることとしている。 <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から当該地区の整備促進について強い要望がある。 <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。 <p>道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>55,269</td> <td>35,889</td> <td>36,002</td> <td>27,779</td> <td>25,428</td> <td>5,419</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>-</td> <td>111.6%</td> <td>100.3%</td> <td>77.2%</td> <td>91.5%</td> <td>21.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2以前は2月補正予算、R3は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>						年度	H10	H29	H30	R1	R2	R3	事業費（百万円）	55,269	35,889	36,002	27,779	25,428	5,419	対前年度比	-	111.6%	100.3%	77.2%	91.5%	21.3%
年度	H10	H29	H30	R1	R2	R3																					
事業費（百万円）	55,269	35,889	36,002	27,779	25,428	5,419																					
対前年度比	-	111.6%	100.3%	77.2%	91.5%	21.3%																					
状況																											

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自然野生動植物保全方針による保全区分 : A、B、D ・希少野生動植物の生息の有無 : 有 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無 <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたっては、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。 ・施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 <p>《環境等への配慮に要する経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切土・盛土については植生緑化 (5,000千円) 																																																																																																																												
	事業計画の妥当性	<p>(1) 事業費の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事費 9,111百万円 ・用地費 89百万円 ・測量試験費 200百万円 ・合計 9,400百万円 <p>(2) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>規定値-2m未満</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6.5m<規定値-2m (7.5m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>規定値未満</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>100m<規定値 (150m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>-10km/h特例値超</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>8.4%>-10km/h特例値 (7%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>1.0未満</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>10.0km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10.0km/h\geq10.0km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴有</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>履歴有</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎かつ山村振興地域</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>過疎、山村</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>代替・補完路</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、観光支援、救急医療アクセス、峠道などの冬期の安全性確保</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>無し</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>無し</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>無し</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.0\leqB/C<2.0</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=1.4</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>用地取得の進捗状況</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>有り</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>大船渡市、陸前高田市、住田町</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>73</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)	曲線半径	規定値未満	5	3	100m<規定値 (150m)	縦断勾配	-10km/h特例値超	5	5	8.4%>-10km/h特例値 (7%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	1.0未満	2	0	0.85	定時性	10.0km/h以上	2	2	10.0km/h \geq 10.0km/h	事故率	履歴有	3	1	履歴有	過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村	小計		30	21		重要性	ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15		産業振興、生活支援	4項目該当	15	15	物流支援、観光支援、救急医療アクセス、峠道などの冬期の安全性確保	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	無し	5	0	無し	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	無し	5	0	無し	10km以内に迂回路	無し	5	5	無し	小計		15	5		効率性	費用便益比 (B/C)	1.0 \leq B/C<2.0	20	15	B/C=1.4	小計		20	15		熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%	地元要望	有り	2	2	大船渡市、陸前高田市、住田町	小計		5	2		合計		100	73
評価指標		区分	配点	評点	備考																																																																																																																								
必要性		車道等幅員	規定値-2m未満	5	5	6.5m<規定値-2m (7.5m)																																																																																																																							
		曲線半径	規定値未満	5	3	100m<規定値 (150m)																																																																																																																							
		縦断勾配	-10km/h特例値超	5	5	8.4%>-10km/h特例値 (7%)																																																																																																																							
		歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																							
		混雑度	1.0未満	2	0	0.85																																																																																																																							
		定時性	10.0km/h以上	2	2	10.0km/h \geq 10.0km/h																																																																																																																							
		事故率	履歴有	3	1	履歴有																																																																																																																							
		過疎地域等の振興	過疎かつ山村振興地域	5	5	過疎、山村																																																																																																																							
小計			30	21																																																																																																																									
重要性		ネットワークの位置付け	代替・補完路	15	15																																																																																																																								
		産業振興、生活支援	4項目該当	15	15	物流支援、観光支援、救急医療アクセス、峠道などの冬期の安全性確保																																																																																																																							
		小計		30	30																																																																																																																								
緊急性		関連事業の有無	無し	5	0	無し																																																																																																																							
		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	無し	5	0	無し																																																																																																																							
		10km以内に迂回路	無し	5	5	無し																																																																																																																							
		小計		15	5																																																																																																																								
効率性		費用便益比 (B/C)	1.0 \leq B/C<2.0	20	15	B/C=1.4																																																																																																																							
		小計		20	15																																																																																																																								
熟度	用地取得の進捗状況	0%	3	0	0%																																																																																																																								
	地元要望	有り	2	2	大船渡市、陸前高田市、住田町																																																																																																																								
	小計		5	2																																																																																																																									
合計		100	73																																																																																																																										

○ 費用便益分析

費用便益分析手法： 費用便益分析マニュアル(平成30年2月)、道路投資の評価に関する指針(案)第1編(平成10年6月)、第2編(平成11年11月)

基準年： 令和4年

区 分		金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	改築費	6,526	
	維持費	101	
	総費用(C)	6,627	
便益項目	時間短縮便益	7,159	
	走行経費減少便益	588	
	事故減少便益	45	
	3便益 ①	7,791	
	環境改善便益	-319	
	拡張便益	2,007	
	その他便益 ②	1,689	
	小計(①+②)	9,480	
	修正便益 ③	6,016	
	総便益(B) ①+②+③	15,496	
(参考) 修正費用便益比(B/C)		2.3	
費用便益比B(①+②)/C		1.4	修正便益③を考慮しない場合

参考 将来交通量 6,353 台/日(R14)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

・参考として、地域補正計数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(3) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・法面対策が必要な箇所を回避し、土工量の軽減などコスト縮減を図っている。
- ・再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。
- ・当該工区で発生する掘削土は、当該工区の盛土材として使用するなどコスト縮減に努める。
- ・その他、詳細設計時には将来的な維持管理を含めたトータルコストの視点に立ち、コスト縮減に努める。

(4) 代替案の比較検討結果

- ・代替案として考えられるほかの事業手法
トンネル新設案及び現道活用案について比較検討したが、急勾配区間を回避し速度低下を解消するための最短の経路として現計画のトンネル新設案が適当であると判断したものである。
 - トンネル新設案 平面・縦断線形が良好であり、速度低下は生じない。
また、急勾配、幅員狭小の区間を回避する最短の経路である。
 - 現道改良案 峠部の縦断勾配を基準値に収めることが困難であり、白石トンネルの幅員狭小区間を回避しないため事業効果が劣る。

(5) 事業規模の妥当性

- ・過去に実施した同規模のトンネル事業と比較し、費用が同程度となることから事業規模は妥当であると判断したものである。

路線名	トンネル名称	延長(km)	延長当り単価(千円/m)
国道107号	(仮称)新白石トンネル	2.3	3,200
国道107号	梁川口内トンネル	1.0	3,280
国道340号	立丸第一トンネル	1.8	2,910

※トンネル設備・舗装を含む。(トンネル延長に端数を含む)

事業計画の妥当性

(1) 総合評価

対応方針案	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事業実施</div> ・ 要検討 () ・ その他 ()
-------	---

(事業名) 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	事業に関する指標からみた評価点数	参考 B/C (修正 B/C)
4	13	9,400	73	1.4 (2.3)

○総合評価に係るコメント

【事業目的】

トンネル整備により、急カーブ、急勾配が連続する峠区間の課題を解消し、安全で円滑な交通機能の確保を図る。

【社会経済情勢等】

重要港湾である大船渡港と内陸を結ぶ物流上重要な路線であり、また、緊急輸送道路の1次路線として、平常時、災害時を問わない安定的な輸送の確保が求められる路線である。

「いわて県民計画」及び「岩手県国土強靱化地域計画」における政策目標に合致しており、災害に強い幹線道路の整備を推進することとなる。

また、大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から整備促進について強い要望がある。

【自然環境等への配慮について】

事業実施にあたっては振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて関係機関との協議及び現地調査を行い、環境に配慮して事業を進めることとする。

【事業計画の妥当性について】

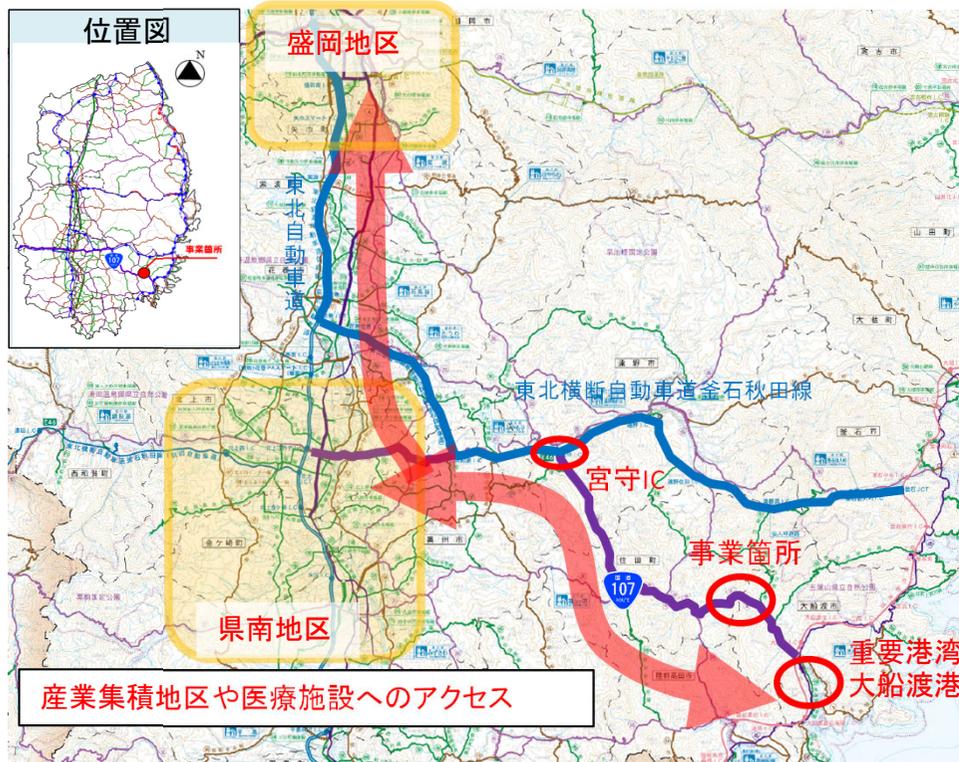
指標及び費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案等を検討した結果から妥当であると判断したものである。

以上のことから、本事業の目的を達成するためには、現時点での社会経済情勢等の状況などを検討した結果、本計画のとおり事業実施が妥当であると判断したものである。

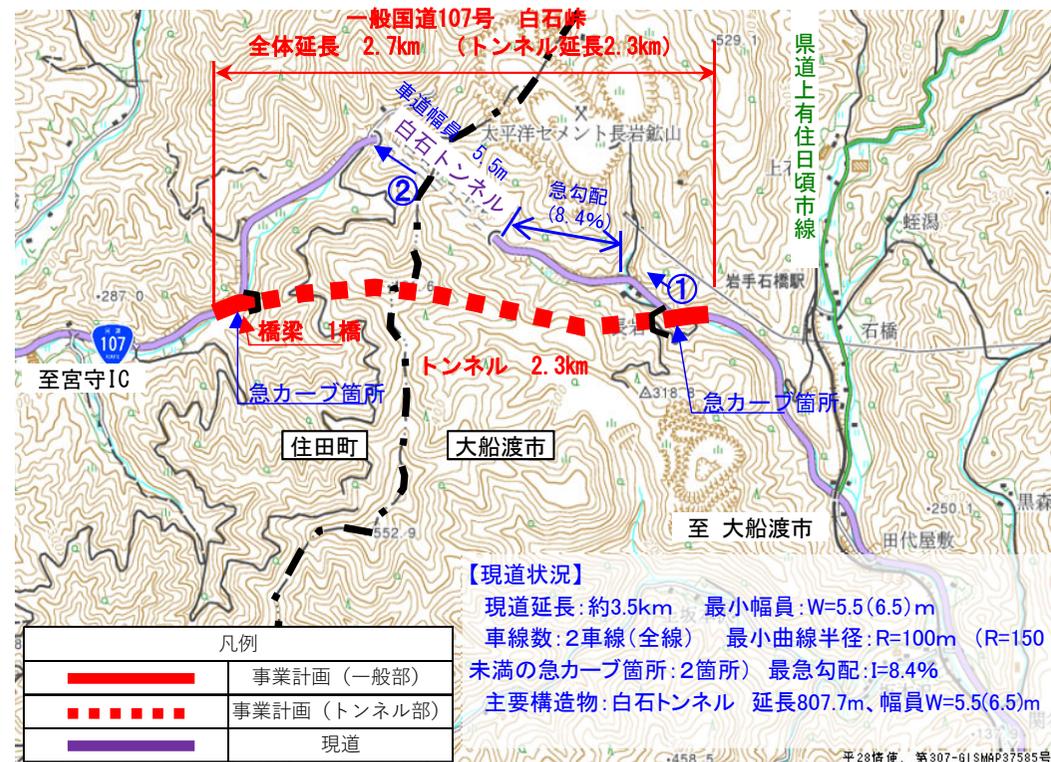
大規模公共事業 事前評価調書 (付表)

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)		補助 単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																																																			
路線名等	一般国道 107号	地区名	しらいとうげ 白石峠	市町村	大船渡市・住田町																																																			
<p>1 現在までの事業に係る経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 道路現況調査 平成30年度 道路現況調査 令和2年度 道路予備設計 <p>2 住民意見の状況及びこれに対する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体から当該道路の整備促進について要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととしている。 (近年の要望状況) ○大船渡市 令和2年8月3日 ○住田町 令和2年8月3日 ○気仙広域連合 令和2年8月7日 ○気仙地区議会議員協議会 令和2年11月16日 <p>3 トンネル内で発生する事故に対する対応</p> <ul style="list-style-type: none"> トンネル内の非常用施設は道路トンネル付属施設設置基準・同解説(案)に基づき設置 トンネル:非常電話、押しボタン式通報装置、非常警報装置、消火器、消火栓、誘導表示板 <p>4 環境対策の具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 有識者等の指導と助言のもと、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら事業を進める。 ○希少野生動植物の調査、必要に応じて移植等の対応 ○排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用 <p>5 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 費用便益分析 <p>費用便益分析手法: 費用便益分析マニュアル(平成30年2月)、道路投資の評価に関する指針(案)第1編(平成10年6月)、第2編(平成11年11月)費用便益分析手法:</p> <p style="text-align: right;">基準年: 令和4年</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>金 額 (百 万 円)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用項目</td> <td>改築費</td> <td>6,526</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持費</td> <td>101</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>6,627</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">便益項目</td> <td>時間短縮便益</td> <td>7,159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>588</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事故減少便益</td> <td>45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3便益 ①</td> <td>7,791</td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境改善便益</td> <td>-319</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡張便益</td> <td>2,007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他便益 ②</td> <td>1,689</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計((①+②))</td> <td>9,480</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修正便益 ③</td> <td>6,016</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益(B) ①+②+③</td> <td>15,496</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考) 修正費用便益比(B/C)</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用便益比B((①+②)/C)</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 将来交通量 6,353 台/日(R14)</p> <p>以下の項目については、いずれも基準年において現在価値化し便益を算出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 改築費 : 道路建設に要する費用 ② 維持費 : 供用開始後50年間における維持管理費 ③ 時間短縮便益 : 供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益 ④ 走行経費減少便益 : 供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果 ⑤ 事故減少便益 : 供用開始後50年間において、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果 ⑥ 環境改善便益 : 供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果 ⑦ 拡張便益 : 供用開始後50年間において、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果 ⑧ 修正便益 : 東京を基準(1.0)とし、所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮 <p>※評価対象事業の位置図、計画平面図、標準横断図等を添付のこと。</p>						区 分		金 額 (百 万 円)	備 考	費用項目	改築費	6,526		維持費	101		総費用(C)	6,627		便益項目	時間短縮便益	7,159		走行経費減少便益	588		事故減少便益	45		3便益 ①	7,791		環境改善便益	-319		拡張便益	2,007		その他便益 ②	1,689		小計((①+②))	9,480		修正便益 ③	6,016		総便益(B) ①+②+③	15,496		(参考) 修正費用便益比(B/C)	2.3		費用便益比B((①+②)/C)	1.4	
区 分		金 額 (百 万 円)	備 考																																																					
費用項目	改築費	6,526																																																						
	維持費	101																																																						
	総費用(C)	6,627																																																						
便益項目	時間短縮便益	7,159																																																						
	走行経費減少便益	588																																																						
	事故減少便益	45																																																						
	3便益 ①	7,791																																																						
	環境改善便益	-319																																																						
	拡張便益	2,007																																																						
	その他便益 ②	1,689																																																						
	小計((①+②))	9,480																																																						
	修正便益 ③	6,016																																																						
	総便益(B) ①+②+③	15,496																																																						
(参考) 修正費用便益比(B/C)	2.3																																																							
費用便益比B((①+②)/C)	1.4																																																							

地域連携道路整備事業 一般国道107号 白石峠 事業概要図



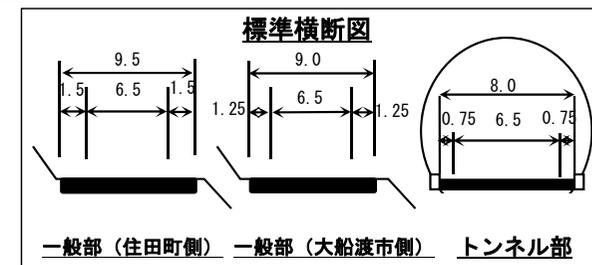
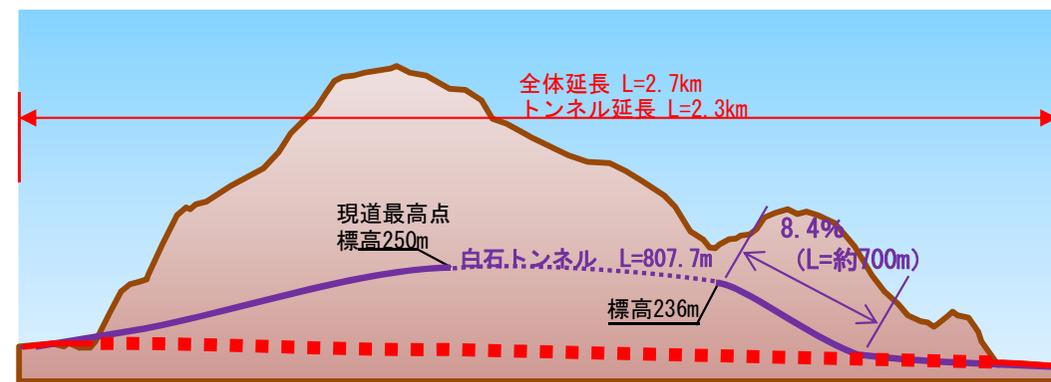
(岩手県管内道路網図抜粋)



(令和3年1月撮影)



(平成29年9月撮影)



費用対効果計算書

48

路線名: 107号 地区名: 白石峠 単位: 百万円

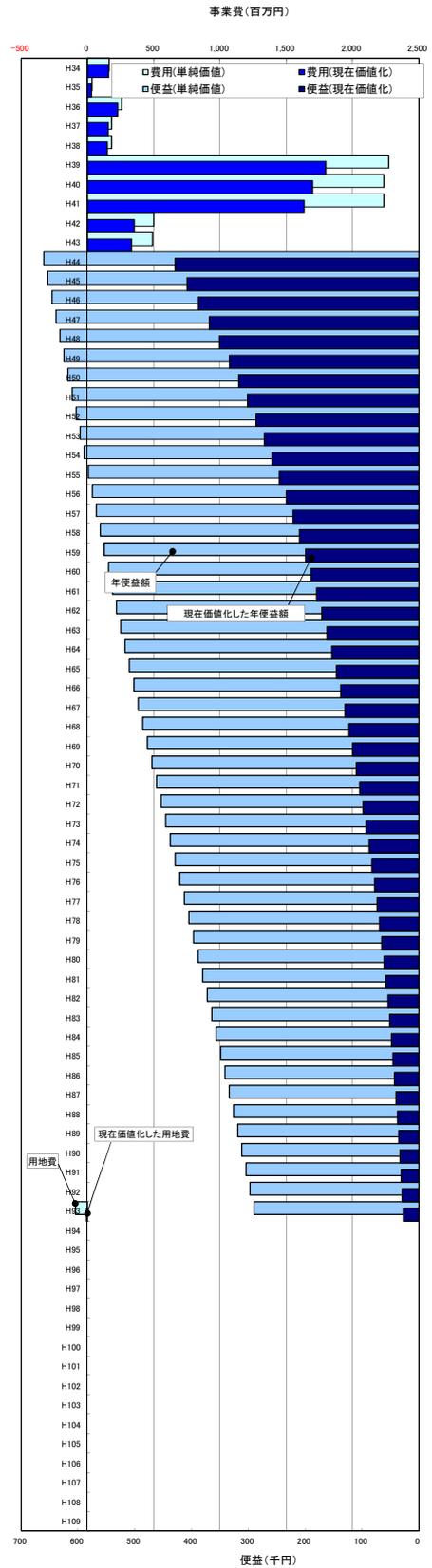
年度	年次	現在価値割引率	GDPテラータ	費用				便益	
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値
				費用	現在価値	費用	現在価値		
-10	H34	0.98154	102.8	164	157.7	0	0.0	0.0	0.0
-9	H35	0.92456	102.8	33	30.5	0	0.0	0.0	0.0
-8	H36	0.88900	102.8	257	228.5	0	0.0	0.0	0.0
-7	H37	0.85480	102.8	182	155.6	0	0.0	0.0	0.0
-6	H38	0.82193	102.8	182	149.6	0	0.0	0.0	0.0
-5	H39	0.79031	102.8	2,273	1,796.4	0	0.0	0.0	0.0
-4	H40	0.75992	102.8	2,236	1,699.2	0	0.0	0.0	0.0
-3	H41	0.73069	102.8	2,236	1,633.8	0	0.0	0.0	0.0
-2	H42	0.70259	102.8	500	351.3	0	0.0	0.0	0.0
-1	H43	0.67556	102.8	491	331.7	0	0.0	0.0	0.0
0	H44	0.64958	102.8	0	0.0	6,990.4	4.5	660.3	428.9
1	H45	0.62460	102.8	0	0.0	6,990.4	4.4	653.2	408.0
2	H46	0.60057	102.8	0	0.0	6,990.4	4.2	646.1	388.0
3	H47	0.57748	102.8	0	0.0	6,990.4	4.0	639.0	369.0
4	H48	0.55526	102.8	0	0.0	6,990.4	3.9	631.9	350.9
5	H49	0.53391	102.8	0	0.0	6,990.4	3.7	624.8	333.6
6	H50	0.51337	102.8	0	0.0	6,990.4	3.6	617.7	317.1
7	H51	0.49363	102.8	0	0.0	6,990.4	3.5	610.5	301.4
8	H52	0.47464	102.8	0	0.0	6,990.4	3.3	603.4	286.4
9	H53	0.45639	102.8	0	0.0	6,990.4	3.2	596.3	272.1
10	H54	0.43883	102.8	0	0.0	6,990.4	3.1	589.2	258.6
11	H55	0.42196	102.8	0	0.0	6,990.4	2.9	582.1	245.6
12	H56	0.40573	102.8	0	0.0	6,990.4	2.8	575.0	233.3
13	H57	0.39012	102.8	0	0.0	6,990.4	2.7	567.9	221.5
14	H58	0.37512	102.8	0	0.0	6,990.4	2.6	560.8	210.4
15	H59	0.36069	102.8	0	0.0	6,990.4	2.5	553.7	199.7
16	H60	0.34682	102.8	0	0.0	6,990.4	2.4	546.6	189.6
17	H61	0.33348	102.8	0	0.0	6,990.4	2.3	539.4	179.9
18	H62	0.32065	102.8	0	0.0	6,990.4	2.2	532.2	170.7
19	H63	0.30832	102.8	0	0.0	6,990.4	2.2	524.8	161.8
20	H64	0.29646	102.8	0	0.0	6,990.4	2.1	517.3	153.4
21	H65	0.28506	102.8	0	0.0	6,990.4	2.0	509.6	145.3
22	H66	0.27409	102.8	0	0.0	6,990.4	1.9	501.8	137.5
23	H67	0.26355	102.8	0	0.0	6,990.4	1.8	494.0	130.2
24	H68	0.25342	102.8	0	0.0	6,990.4	1.8	486.1	123.2
25	H69	0.24367	102.8	0	0.0	6,990.4	1.7	478.1	116.5
26	H70	0.23430	102.8	0	0.0	6,990.4	1.6	470.0	110.1
27	H71	0.22529	102.8	0	0.0	6,990.4	1.6	461.9	104.1
28	H72	0.21662	102.8	0	0.0	6,990.4	1.5	453.8	98.3
29	H73	0.20829	102.8	0	0.0	6,990.4	1.5	445.6	92.8
30	H74	0.20028	102.8	0	0.0	6,990.4	1.4	437.5	87.6
31	H75	0.19257	102.8	0	0.0	6,990.4	1.3	429.3	82.7
32	H76	0.18517	102.8	0	0.0	6,990.4	1.3	421.1	78.0
33	H77	0.17805	102.8	0	0.0	6,990.4	1.2	412.9	73.5
34	H78	0.17120	102.8	0	0.0	6,990.4	1.2	404.8	69.3
35	H79	0.16461	102.8	0	0.0	6,990.4	1.2	396.7	65.3
36	H80	0.15828	102.8	0	0.0	6,990.4	1.1	388.6	61.5
37	H81	0.15219	102.8	0	0.0	6,990.4	1.1	380.6	57.9
38	H82	0.14634	102.8	0	0.0	6,990.4	1.0	372.6	54.5
39	H83	0.14071	102.8	0	0.0	6,990.4	1.0	364.7	51.3
40	H84	0.13530	102.8	0	0.0	6,990.4	0.9	356.9	48.3
41	H85	0.13010	102.8	0	0.0	6,990.4	0.9	349.2	45.4
42	H86	0.12509	102.8	0	0.0	6,990.4	0.9	341.5	42.7
43	H87	0.12028	102.8	0	0.0	6,990.4	0.8	333.9	40.2
44	H88	0.11566	102.8	0	0.0	6,990.4	0.8	326.4	37.7
45	H89	0.11121	102.8	0	0.0	6,990.4	0.8	319.0	35.5
46	H90	0.10693	102.8	0	0.0	6,990.4	0.7	311.7	33.3
47	H91	0.10282	102.8	0	0.0	6,990.4	0.7	304.5	31.3
48	H92	0.09886	102.8	0	0.0	6,990.4	0.7	297.4	29.4
49	H93	0.09506	102.8	-90	-8.6	6,990.4	0.7	290.4	27.6
50	H94	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H95	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H96	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
53	H97	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
54	H98	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
55	H99	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
56	H100	0.07224	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
57	H101	0.06946	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
58	H102	0.06679	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
59	H103	0.06422	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
60	H104	0.06175	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
61	H105	0.05937	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
62	H106	0.05709	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
63	H107	0.05490	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
64	H108	0.05278	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
65	H109	0.05075	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				8,464	6,526	350	101	23,913	7,791 ①
								拡張便益	1,689 ②
								総便益	9,480 ①+②

(参考) 修正便益 6,016 ③

総便益B(①+②) 9,480 百万円
 総事業費C 6,627 百万円

B/C= 1.4

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 2.3



大規模公共事業事前評価の概要

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)

一般国道107号 しらいしとうげ 白石峠

令和3年6月8日

県土整備部 道路建設課

本日の説明内容

I 事業概要

路線の役割

解決すべき課題と事業目的

事業内容

II 社会経済情勢の状況

III 自然環境等の状況

IV 事業計画の妥当性

V 総合評価

I 事業概要 ～路線の役割～

【位置図】

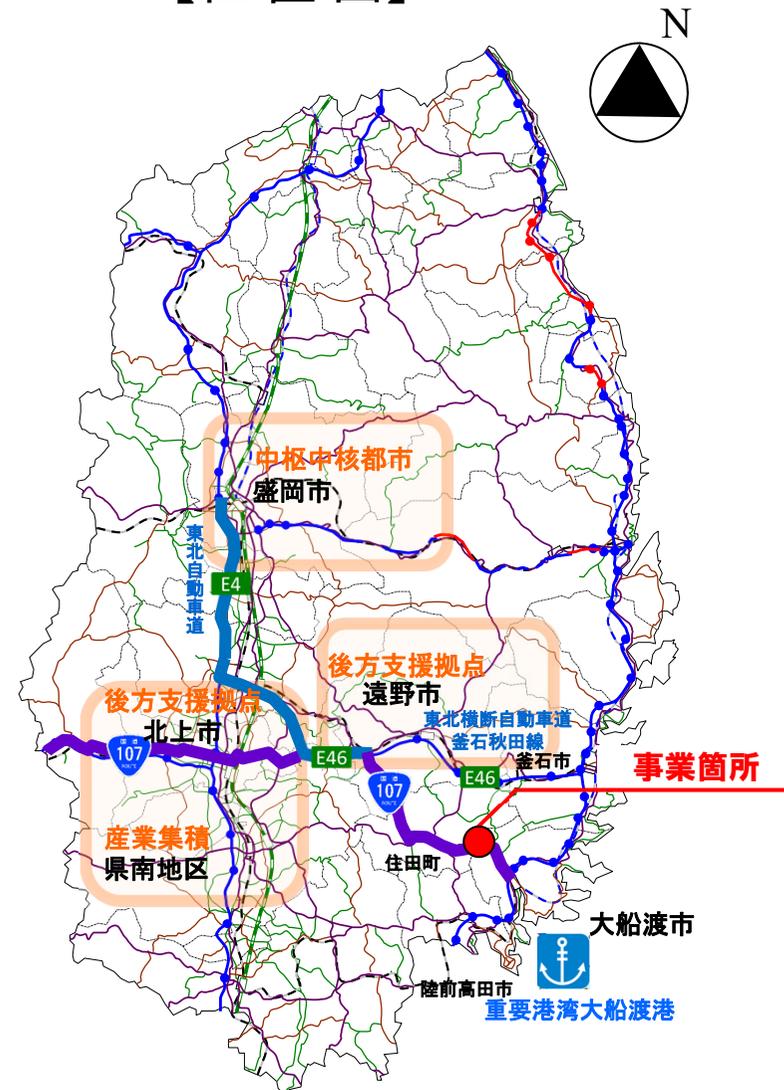
○路線名 一般国道107号

○事業箇所 ^{しらいし}白石峠

(大船渡市～住田町)

○路線の役割

- ① 大船渡市を起点とし秋田県由利本荘市に至る主要幹線道路
- ② 重要港湾大船渡港と中枢中核都市盛岡市や産業集積が進む県南地区を結ぶ路線
- ③ 緊急輸送道路かつ後方支援拠点へアクセスする道路

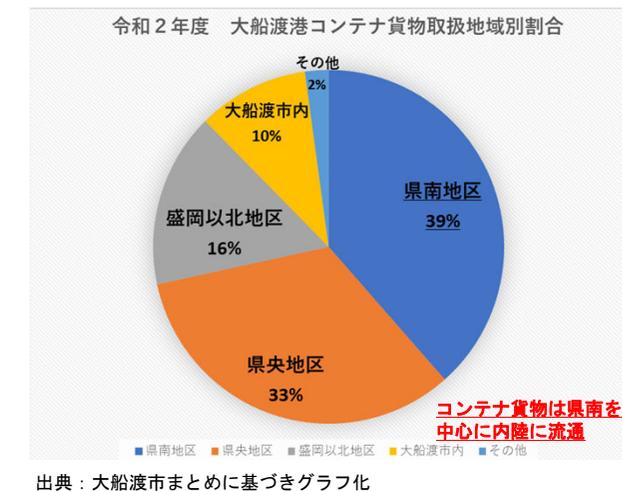
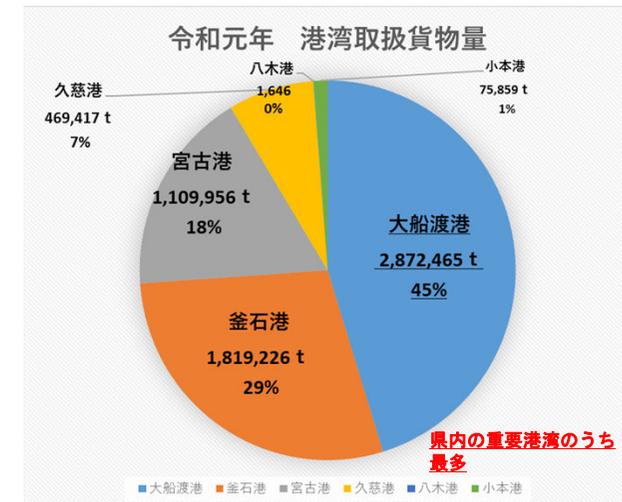
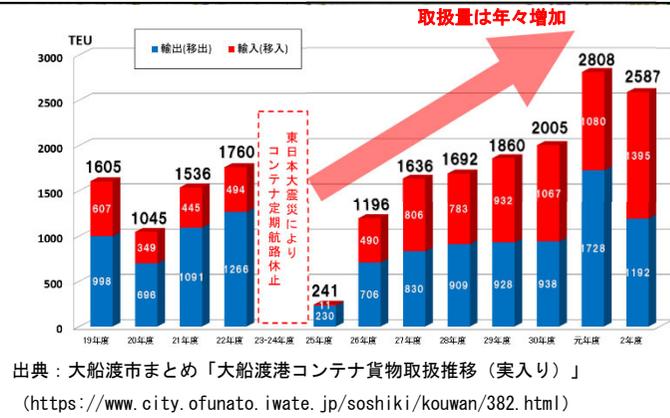
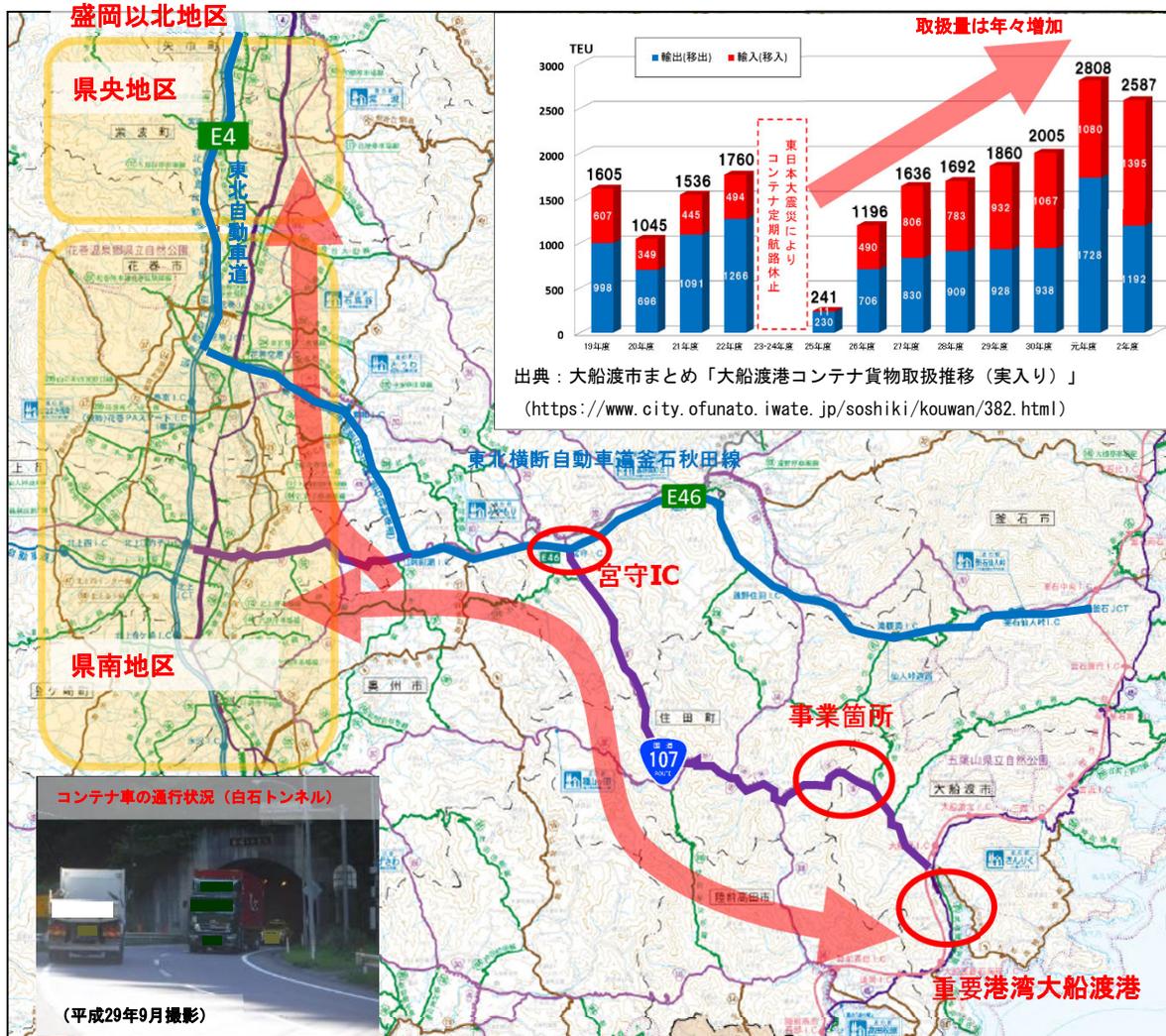


※ 中枢中核都市: 地域の経済や住民生活を支える拠点となる市。

※ 後方支援拠点: 被災地支援の前進基地として被災地で活動する人・物・情報に関する機能を有する拠点。

I 事業概要 ～路線の役割～

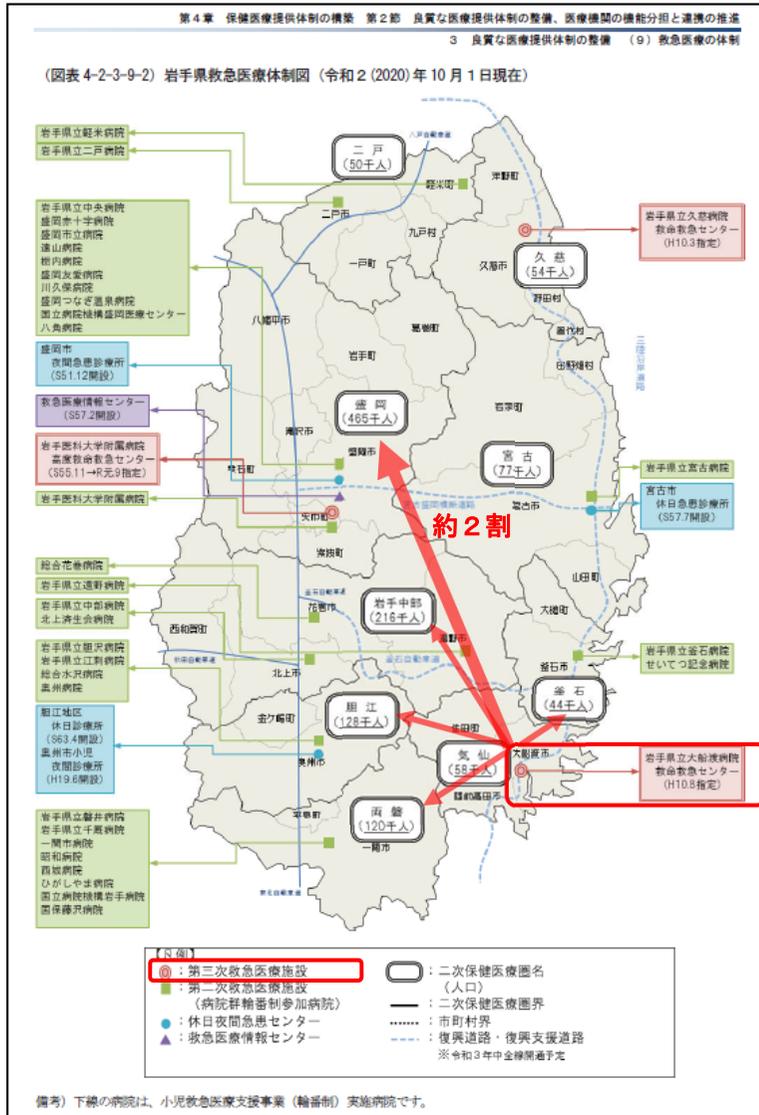
- ・重要港湾である大船渡港と中枢中核都市である盛岡市や産業集積が進む県南地区を結ぶ物流路線



※重要港湾：港湾法第2条第2項 海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾として政令で定めるもの。

I 事業概要 ～路線の役割～

・第三次救急医療施設である大船渡病院と内陸を結ぶルート



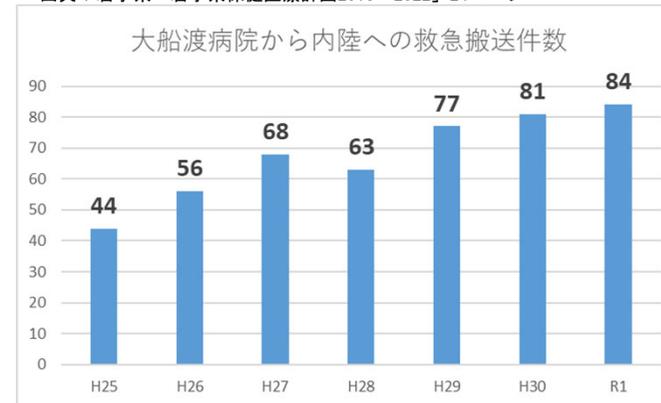
出典：岩手県「岩手県保健医療計画2018～2022」178ページ

(図表 2-4-5) 二次保健医療圏別の入院の完結率 (単位：人 (上段)、% (下段))

施設所在地 患者居住地	盛岡	岩手 中部	胆江	両 磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	合計
盛岡	4,445 96.9	57 1.2	4 0.1	27 0.6	2 0.0	18 0.4	4 0.1	6 0.1	26 0.6	4,589 100.0
岩手中部	440 22.0	1,438 71.9	57 2.8	15 0.7	3 0.1	46 2.3	1 0.0	— —	1 0.0	2,001 100.0
胆江	95 6.5	108 7.4	1,179 80.9	72 4.9	3 0.2	1 0.1	— —	— —	— —	1,458 100.0
両磐	68 6.0	19 1.7	105 9.2	942 82.9	2 0.2	— —	— —	— —	— —	1,136 100.0
気仙	126 19.7	31 4.8	16 2.5	11 1.7	401 62.6	56 8.7	— —	— —	— —	641 100.0
釜石	75 9.8	33 4.3	1 0.1	2 0.3	10 1.3	629 82.0	17 2.2	— —	— —	767 100.0
宮古	224 18.2	16 1.3	4 0.3	2 0.2	— —	46 3.7	905 73.6	33 2.7	— —	1,230 100.0
久慈	42 7.5	4 0.7	1 0.2	3 0.5	— —	3 0.5	1 0.2	492 88.0	13 2.3	559 100.0
二戸	183 32.7	2 0.4	— —	3 0.5	1 0.2	1 0.2	1 0.2	6 1.1	362 64.8	559 100.0
県外	185 39.8	70 15.1	17 3.7	114 24.5	29 6.2	9 1.9	13 2.8	9 1.9	19 4.1	465 100.0

資料：岩手県「平成29(2017)年岩手県患者受療行動調査」

出典：岩手県「岩手県保健医療計画2018～2022」24ページ



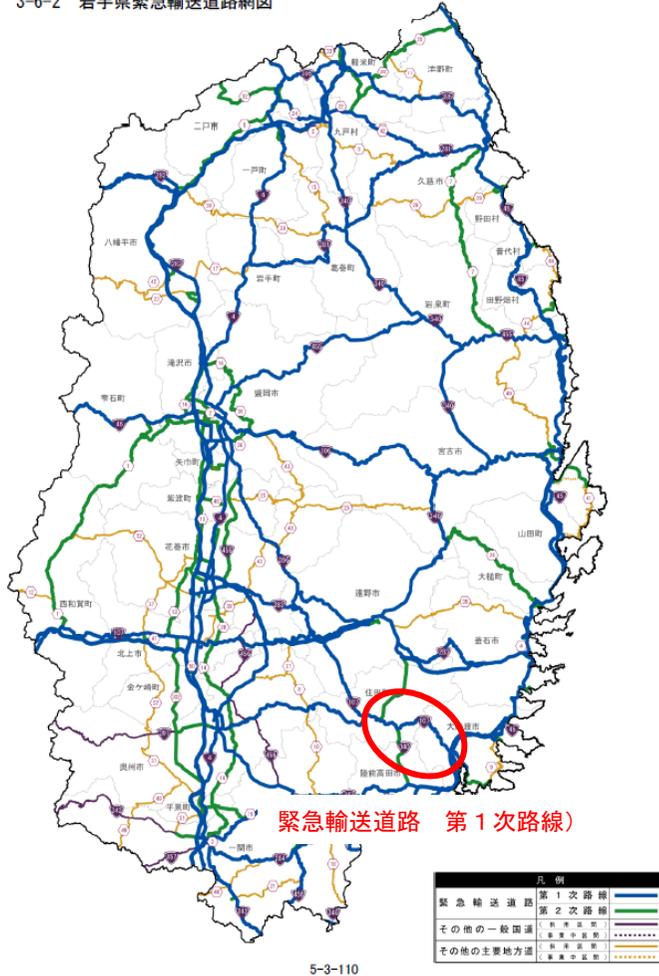
・気仙地域の患者のうち6割は気仙地域で入院が完結するが、残りの約4割は地域外であり、そのうち2割が盛岡地域の病院に入院

・大船渡病院から内陸への救急搬送において利用される路線。

I 事業概要 ～路線の役割～

- ・緊急輸送道路の第1次路線に指定

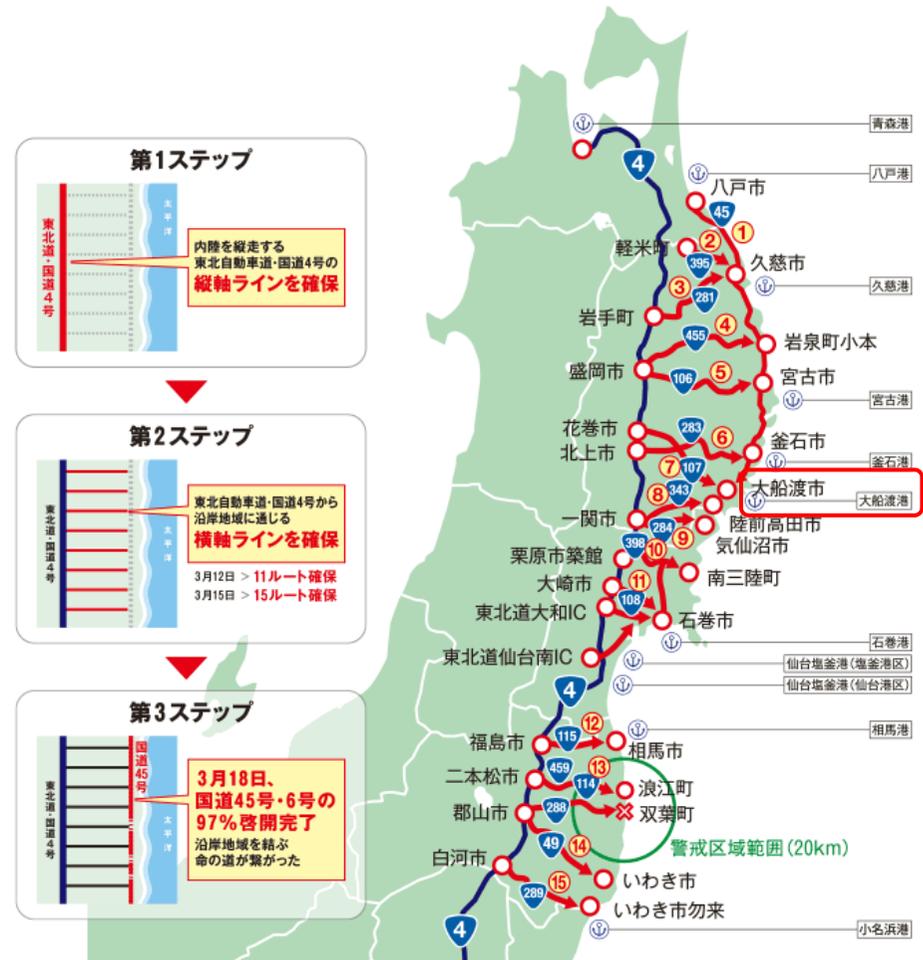
3-6-2 岩手県緊急輸送道路網図



出典：岩手県「地域防災計画（令和2年5月29日時点）」資料編5-3-110

※ 緊急輸送道路第1次路線：県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路

- ・東日本大震災津波の際は、くしの歯作戦の救命救援ルートとして利用

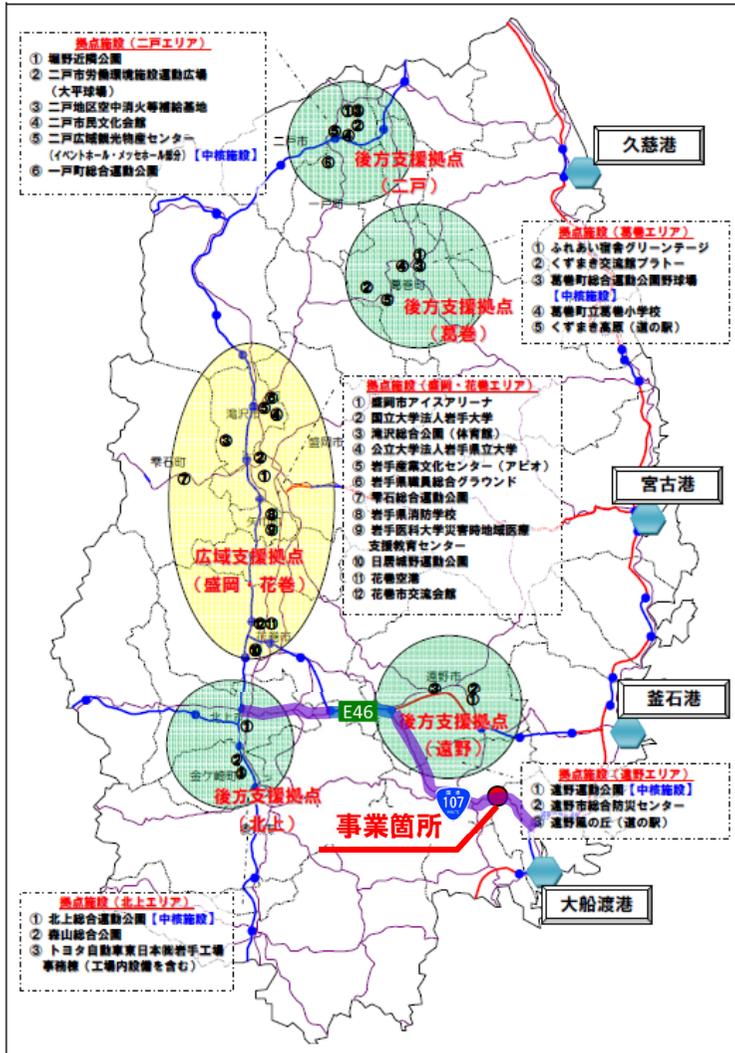


出典：東北地方整備局「東北地方整備局震災伝承館」

(<http://infra-archive311.jp/s-kushinoha.html>)

I 事業概要 ～路線の役割～

図2-2 広域防災拠点の配置イメージ



出典：岩手県「岩手県広域防災拠点配置計画(平成26年3月)」18ページ

・大規模災害時の後方支援拠点(遠野市、北上市)へアクセスする道路

表2-6 広域支援拠点及び後方支援拠点を構成する施設

エリア名	施設名(所在市町村)
盛岡・花巻 【広域支援拠点(県中部)】 (12施設)	盛岡市アイスアリーナ、国立大学法人岩手大学(以上盛岡市)、滝沢総合公園、公立大学法人岩手県立大学、岩手産業文化センター・アピオ、岩手県職員総合グラウンド(以上滝沢市)、雫石総合運動公園(雫石町)、岩手県消防学校、岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター(以上矢巾町)、日居城野運動公園、花巻空港、花巻市交流会館(以上花巻市)
二戸 【後方支援拠点(県北部)】 (6施設)	堀野近隣公園、二戸市労働環境施設運動広場(大平球場)、二戸地区空中消火等補給基地、二戸市民文化会館、二戸広域観光物産センター(イベントホール・メッセホール部分)(以上二戸市)、一戸町総合運動公園(一戸町)
葛巻 【後方支援拠点(県北部)】 (5施設)	ふれあい宿舎グリーンテージ、くずまき交流館プラトー、葛巻町総合運動公園、葛巻町立葛巻小学校、くずまき高原(道の駅)(いずれも葛巻町)
遠野 【後方支援拠点(県南部)】 (3施設)	遠野運動公園、遠野市総合防災センター、遠野風の丘(いずれも遠野市)
北上 【後方支援拠点(県南部)】 (3施設)	北上総合運動公園(北上市)、森山総合公園、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場事務棟(工場内設備を含む)(以上金ケ崎町)

出典：岩手県「岩手県広域防災拠点配置計画(平成26年3月)」19ページ

※後方支援拠点:被災地支援の前進基地として被災地で活動する人・物・情報に関する機能を有する拠点。

I 事業概要 ～解決すべき課題と事業目的①～

○現状

急勾配:約700m 急カーブ:2箇所

○課題

速度低下、交通事故の発生

縦断勾配 8.4%
(道路構造令上の基準値:5%)

曲線半径100m
(道路構造令上の基準値:150m)

車両逸脱事故発生状況



(令和3年1月撮影)



(令和3年4月撮影)



(令和3年1月撮影)

○目的

急勾配、急カーブの解消による安全で円滑な通行の確保

- ⇒ 災害時における緊急輸送道路としての機能を強化
- ⇒ 物流機能の向上
- ⇒ 救急搬送の支援

I 事業概要 ～解決すべき課題と事業目的②～

○現状

白石トンネルの幅員が狭小

車道幅員5.5m(構造令上の基準値:6.5m)
路肩幅員1.0m(構造令上の基準値:1.5m)



(平成29年9月撮影)

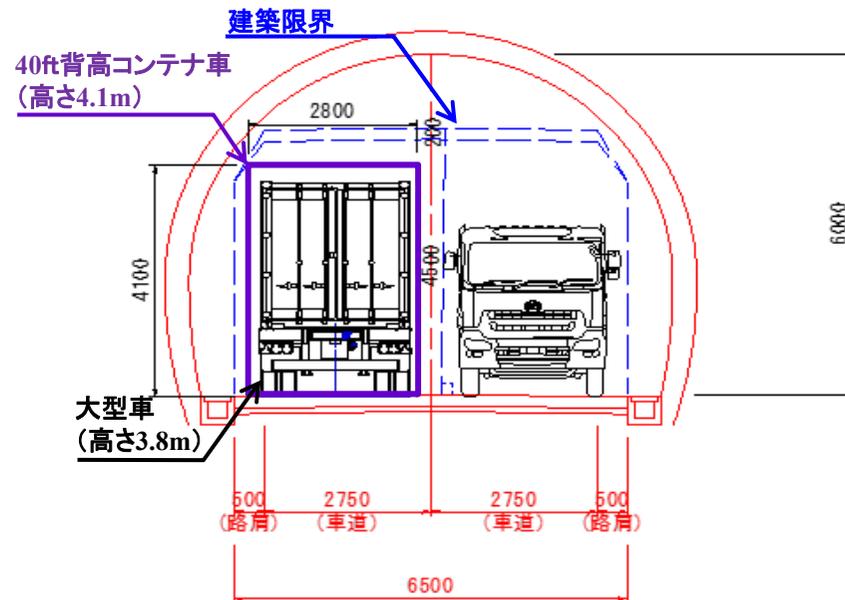


(平成29年9月撮影)

○課題

速度低下の発生(大型車同士のすれ違い困難)

- ・幅員の余裕がなく、大型車同士のすれ違い困難
- ・40ft背高コンテナの通行時はさらにすれ違いが困難

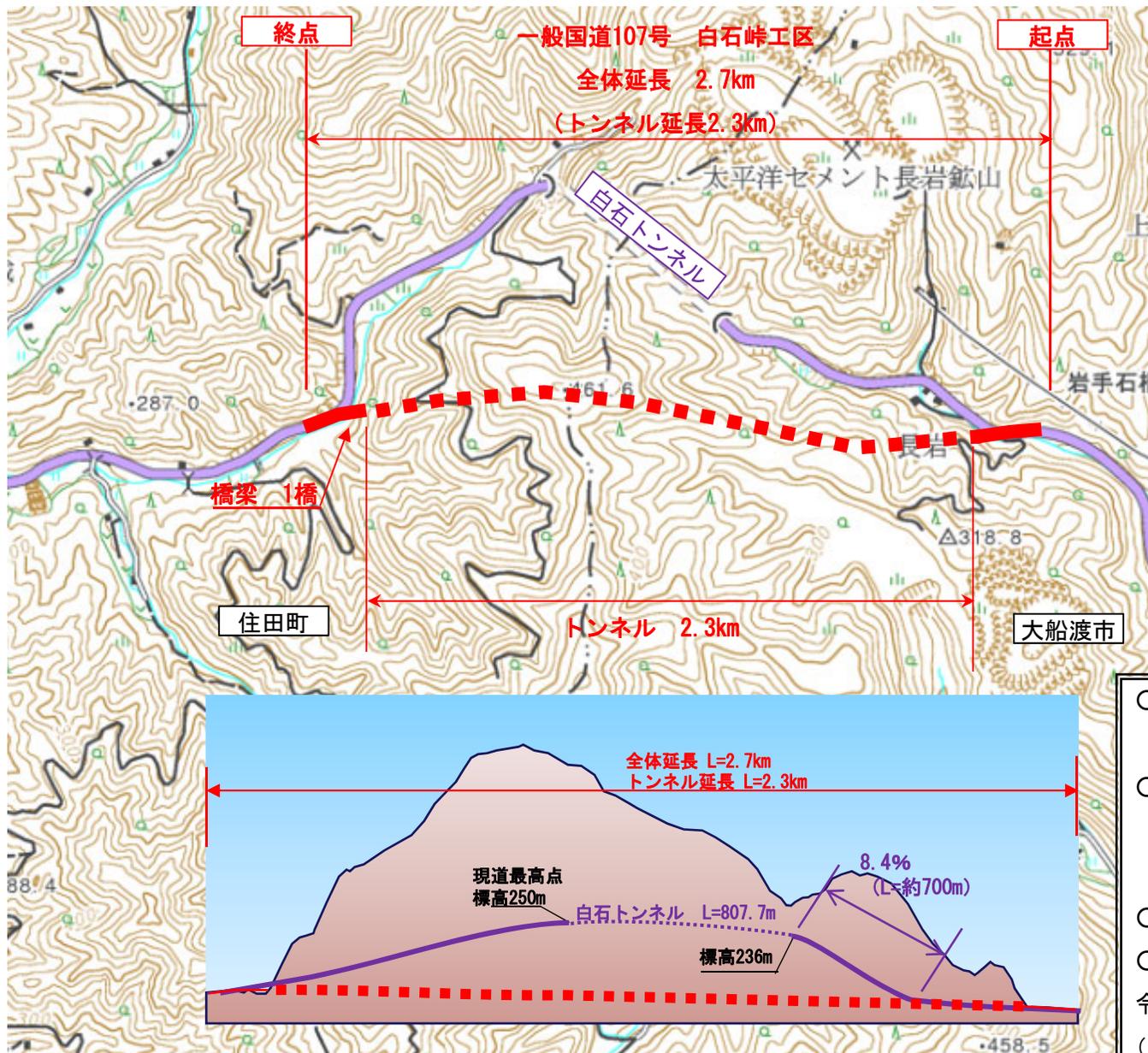


○目的

幅員狭小な白石トンネルの回避による安全で円滑な通行の確保

⇒ **物流機能の向上**

I 事業概要 ~事業内容~



- 計画延長
L=2.7km(うちトンネル L=2.3km)
- 計画幅員
(一般部) W=6.5(9.5~9.0)m
(トンネル部) W=6.5(8.0)m
- 総事業費 9,400百万円
- 事業計画期間
令和4年度 ~ 令和13年度
(供用開始 令和13年度)

II 社会経済情勢の状況

○『いわて県民計画(2019~2028)』

「災害に強い道路ネットワーク」

「日常生活を支える安全・安心な道づくり」

「産業振興や交流を支える道路整備」を推進

○『岩手県国土強靱化地域計画』

「災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワーク」の構築

○ 地元要望

大船渡市、陸前高田市、住田町、関係団体より整備促進について要望あり

III 自然環境等の状況

○ 動植物等

状況	岩手県自然環境保全指針による保全区分 : A、B、D
	希少野生動植物の生息の有無 : 有り
対応	トンネル整備を計画しており土地の改変は少ない。また、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等からの助言を受けながら環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする

A: 自然度が高く、かつ偏在する特に重要な植生を含む地域。特に重要な動植物が生息・生育する地域

B: 自然度の高い重要な植生を含む地域。重要な動植物種が生息・生育する地域

C: 里山など二次的自然環境の中でも比較的的自然度が高いと判断される重要な植生を含む地域

D: 里山など二次的自然環境の中でも比較的人為性が強いと判断される環境を含む地域

E: 概ね人為的環境となっている地域

○ 歴史文化

状況	埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無し
対応	事前調査により文化財の分布は確認されていない。

○ 景観

対応	トンネル整備を計画しており土地の改変は少ない。また、切土、盛土においては植生緑化を実施する(約5,000千円)
----	---

IV 事業計画の妥当性

○ 事業費の内容

本工事費	9,111百万円
用地補償費	89百万円
測量試験費	200百万円
合 計	9,400百万円

事業費の大半を占めるトンネルについては、過去に実施した同規模のトンネル事業と比較し、費用が同程度となることから事業費は妥当であると判断した

路線名	トンネル名称	延長(km)	延長当り単価(千円/m)
国道107号	(仮称)新白石トンネル	2.3	3,200
国道107号	梁川口内トンネル	1.0	3,280
国道340号	立丸第一トンネル	1.8	2,910

※トンネル設備・舗装を含む。(トンネル延長に端数を含む)

○ 事業に関する指標からみた評価

評価指標		配点	評点	備考
必要性	道路構造の問題点、過疎地域等の振興	30点	21点	
重要性	ネットワークの位置付け、産業振興、生活支援	30点	30点	
緊急性	関連事業、通行危険箇所等、迂回路	15点	5点	
効率性	費用便益比(B/C)	20点	15点	B/C=1.4
熟度	地元の協力状況(用地)、地元要望	5点	2点	用地取得未了(0点) 地元要望あり(2点)
計		100点	73点	

IV 事業計画の妥当性

○代替案の比較検討

①トンネル新設案(今回案)

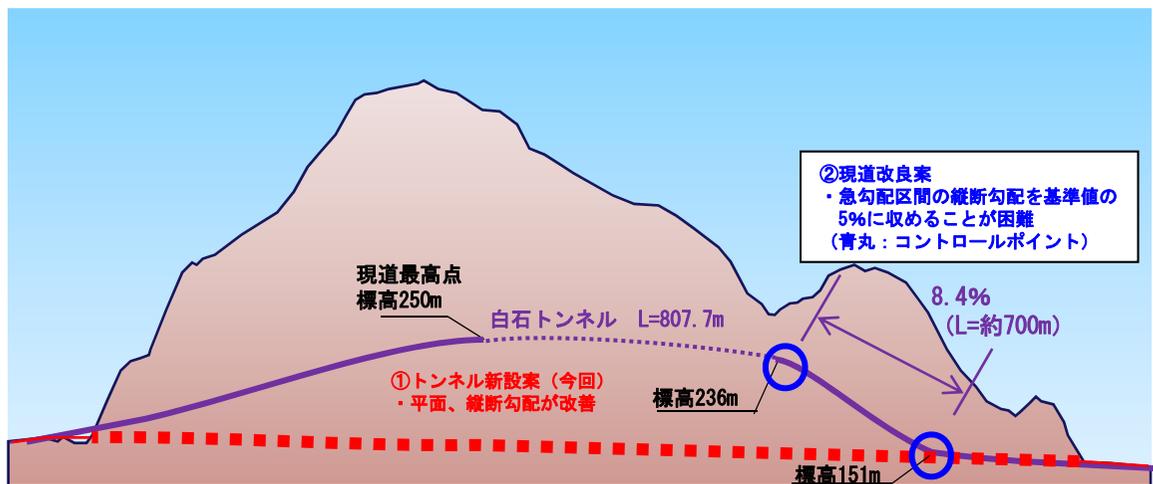
- ・平面線形、縦断勾配の課題の改良
⇒ 急勾配等による速度低下が改善
- ・幅員狭小な白石トンネルを回避
⇒ 大型車両の円滑な通行の確保

当該区間内の課題を解決する最短の経路

②現道改良案

- ・現道の白石トンネルを利用
⇒ 急勾配区間の縦断勾配を基準値に
収めることが困難
⇒ 幅員狭小なトンネルを通行すること
なり、大型車の通行に支障
- ・急カーブの部分的解消に留まる

急勾配や幅員狭小部が未改良となり、
事業効果が劣る



V 総合評価

- ・急勾配区間が連続し、線形不良箇所が多数存在
- ・トンネルの幅員が狭く坑口部がカーブとなっていることから大型車のすれ違いが困難

安全で円滑な
交通を阻害

○トンネル整備によって、急カーブ・急勾配が連続する峠区間が解消され、**安全で円滑な交通機能が確保される**

○「いわて県民計画(2019~2028)」及び「岩手県国土強靱化地域計画」における**政策目標に合致**しており、**地元からも強い要望**がある。

○自然環境の状況は、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める

○事業計画の妥当性は、事業に関する指標及び費用便益分析の結果から事業効果が認められることや、代替案を検討した結果から妥当であると判断

事業実施

大規模公共事業評価再評価調書の概要

(小谷木橋 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型))

担当部：県土整備部 道路建設課

1 事業概要 (路線名：一般国道 397 号、所在市町村：奥州市)

○事業目的：一般国道 397 号は、岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由し、秋田県横手市に至る幹線道路であり、産業経済・観光等を支えるとともに、沿線住民の生活に欠くことのできない道路である。

しかし、当該地区に架橋されている小谷木橋は、幅員狭小により大型車のすれ違いが困難であるとともに、老朽化が著しく、平成 23 年の東日本大震災により重大な損傷が生じ、長期間の通行規制を余儀なくされるなど、円滑な交通の支障となっている。

このことから、橋梁の架替及び前後の道路改良によりこれらを解消し、安全で円滑な交通の確保を行うものである。

○事業内容：計画延長 L=1,420m、計画幅員 W=6.5(15.0~16.5) m、橋梁延長 597m

○事業期間：平成 24 年度～令和 6 年度 (前回評価時：令和 6 年度)

○総事業費：12,000 百万円 (前回評価時：8,460 百万円)

令和 3 年度までの投資額：10,136 百万円、進捗率：84.5% (事業費ベース)

2 事業の進捗状況等

○令和 3 年 5 月 31 日に新橋が供用開始予定であることから、整備効果が発現される見込み。

○旧橋撤去が必要であることから、令和 2 年 12 月に旧橋撤去 (上部工) 工事を契約している。

3 社会経済情勢等の変化

○社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○奥州市、国道 397 号北上川橋梁架替期成同盟会、国道 397 号整備期成同盟会より、当該道路の整備促進について要望がある。

4 コスト縮減対策及び代替案

○コスト縮減対策は、旧橋撤去の施工方法変更により、約 11 百万円の縮減を図ることとしている。

○新橋を供用開始しており、今後は旧橋撤去工事を進めるものであり、代替案立案の可能性は無い。

5 総合評価

○「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、令和 3 年 5 月に新橋が供用開始予定であり、今後は、河川管理者との協議内容に基づき、旧橋撤去を行うもの。

○残工事は、洪水時の流れの阻害となり、河川氾濫の危険性があるため、旧橋を撤去するもの。

○「社会経済情勢等の変化」については、社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○以上のことから、総合評価を「事業継続」とした。

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)		補助・単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課										
路線名等	一般国道397号	地区名	こやぎばし 小谷木橋		市町村	奥州市									
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕														
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○路線の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道397号は、岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由し、秋田県横手市に至る幹線道路であり、産業経済・観光等を支えるとともに、沿線住民の生活に欠くことのできない道路である。 「岩手県地域防災計画」において、緊急輸送道路に指定されており、防災面においても重要な役割を担っている。 <p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地区に架橋されている小谷木橋（S29架橋）は幅員狭小により、大型車のすれ違いが困難となっていることに加え、老朽化が著しく、大雨や地震による重大な損傷が発生し、長期間の通行規制を余儀なくされているなど、安全で円滑な交通の支障となっている。 <p>○整備によって得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の老朽化の解消及び大型車すれ違い困難箇所の解消や歩行者等の安全性、快適性が向上されることにより安全で円滑な交通機能が確保される。 														
	<p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画延長：L=1,420m、計画幅員：W=6.5(15.0～16.5)、橋梁延長：L=597m 														
	<p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型車すれ違い困難箇所、老朽橋の解消：595m 歩行安全性、快適性の向上（歩道設置延長）：1,420m（両側歩道） 														
事業着手	H24年度	事業計画期間	H24	～	R6	再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)	用地着手	H25年度	工事着手	H27年度					
事業費	当初計画 総事業費 (H24年)	再評価時 総事業費 (R3年)A	事業費の状況 [百万円]												
	(うち用地費)	(うち用地費)	H24年～ R1年	R2年	R3年	投資事業費	財源		進捗率						
	B	C	D	E=B+C+D	F=E/A										
	8,460.0 (1,204.0)	12,000.0 (1,008.3)	7,898.8 (959.3)	1,636.8 (30.2)	600.0 (2.0)	10,135.6 (991.5)	国庫 6,511.8 県 3,598.8 他 25.0	84.5%							
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況														
	ア 整備効果の発現状況														
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年5月31日の供用開始により、大型車すれ違い困難箇所が解消され、歩行者の安全性、快適性が向上する見込み。 														
	イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し														
<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗は順調であり、計画どおり確実な竣工が見込まれる。 <p>○中項目評価は、事業完了年度は変更不要であり、今後は計画に基づき事業進捗が見込めていることから「a」とした。</p> <p style="text-align: center;">中項目評価 (a) , b , c</p>															
(2) 事業計画の変更の有無及び内容															
総事業費 8,460百万円 → 12,000百万円															
<p>① 河川管理者との協議により、旧橋の下部工を最深河床高より2m深い位置まで撤去することとなり、撤去範囲に追加が生じたことによる増額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>増額理由</th> <th>3,540百万円</th> </tr> <tr> <td>①旧橋撤去による増額</td> <td>1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>②社会的要因による増額</td> <td>2,040百万円</td> </tr> </table>										増額理由	3,540百万円	①旧橋撤去による増額	1,500百万円	②社会的要因による増額	2,040百万円
増額理由	3,540百万円														
①旧橋撤去による増額	1,500百万円														
②社会的要因による増額	2,040百万円														
② 労務費・資材単価等の上昇による増額															
○金額は増額となるものの、事業内容に大幅な変更は無いため、中項目評価を「b」とした。															
中項目評価 a , (b) , c															
○中項目評価が「a」、「b」であることから、大項目評価を「A」とした。															
評価 AA , (A) , BB , B , C															

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・「被災地の復旧・復興、防災・減災対策」、「社会資本の老朽化への対応」、「国民生活の安全・安心の確保」、「生産性を向上させる社会資本整備」、「魅力ある地域づくり」等、広域な分野にわたって重要な政策を展開している。
- ・近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、集中的に取り組んでいくこととしている。

イ 本県内の状況

- ・「いわて県民計画(2019～2028)」においては、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を重点的な政策の柱として掲げており、この中で道路整備は、地域産業の競争力の向上を目指し、工業製品や農林水産物等の物流の円滑化を図る幹線道路ネットワークを構築することや、地域間の交流・連携の基盤となる広域振興圏相互や隣接県を結ぶ道路の整備を推進するとともに、通勤・通学などの日常生活を支える道作りを進めることとしている。

ウ 施工地域における状況

- ・奥州市、国道397号北上川橋梁架替期成同盟会、国道397号整備促進期成同盟会より、当該道路の整備促進について要望がある。

○ 中項目評価は、本県内および施工地域において議論や見直しの検討は無いことから「a」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点(A) H24	今回再評価時 評点(B) R3	増減 (B)-(A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況5.5m)	5 (現況5.5)	0	現況最小幅員5.5m <規定値-2m(7.5m)
	曲線半径	5	5 (現況41m)	5 (現況41m)	0	現況最小曲線半径41m <-10km/h縮小値(80m)
	縦断勾配	5	0 (現況3.4%)	0 (現況3.4%)	0	現況最急縦断勾配3.4% <規定値(5%)
	歩道設置の必要性	3	3 (必要)	3 (必要)	0	前後区間連続性確保の必要性
	混雑度	2	2 (1.26)	2 (1.26)	0	
	定時性	2	0 (0.5km/h)	0 (0.5km/h)	0	速度差0.5km/h <5.0km/h
	事故率	3	1 (34.8件/億台キロ)	1 (34.8件/億台キロ)	0	事故率34.8件/億台キロ
	過疎地域等の振興	5	0 (該当無)	0 (該当無)	0	
	計	30	16	16	0	
重要性	ネットワークの位置付け	15	12 (緊急かつ地域形成道路)	12 (広域振興圏間連絡道路)	0	
	産業振興、生活支援	15	15 (5項目)	15 (5項目)	0	※
	計	30	27	27	0	
緊急性	関連事業の有無	5	5 (有)	5 (有)	0	水沢東BP(R2.3.21部分開通)
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、 交通不能区間、通行危険箇所等	5	5 (老朽橋)	5 (老朽橋)	0	老朽橋 (小谷木橋)
	部分供用の有無				0	
	10km以内に迂回道路	5	0 (有)	0 (有)	0	
	計	15	10	10	0	
効率性	費用便益費(B/C)	20	18 (B/C=2.7)	15 (B/C=1.2)	-3	
	計	20	18	15	-3	
熟度	用地取得の進捗状況	3	2 (50%)	3 (100%)	1	用地取得率：100%
	地元要望	2	2 (有)	2 (有)	0	
	計	5	4	5	1	
計	100	75	73	-2	(今回再評価/前回事前評価) 97%	

※ : 物流支援、観光支援、公共施設アクセス、交通拠点アクセス、通園通学路の安全性向上

社会
経済
情勢
等
の
変
化

○費用便益分析（全線供用による便益計算）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

（単位：百万円）

区分		事業着手時 (基準年：H24)	再評価時 (基準年：R3)
費用項目	改築費	6,068.0	12,281.5
	維持費	51.0	78.4
	総費用 (C)	6,119.0	12,359.9
便益項目	時間短縮便益	10,529.0	8,232.5
	走行経費減少便益	1,616.0	863.6
	事故減少便益	331.0	40.6
	3便益 ①	12,476.0	9,136.7
	環境改善便益	17.0	58.1
	拡張便益	4,291.0	6,218.2
	その他便益 ②	4,308.0	6,276.3
	小計 ①+②	16,784.0	15,413.0
	修正便益 ③	8,358.0	9,384.6
	総便益 (B) ①+②+③	25,142.0	24,797.6
費用便益比 B (①+②) / C		2.7	1.2
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) / C		4.1	2.0
将来交通量		8,100台/日 (H32)	7,562台/日 (R12)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

- ・参考として、地域補正係数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。
- ・基準改定により総便益の考え方を変更。

事業着手時	(3便益+その他便益+修正便益)
再評価時	(3便益+その他便益)

○関連する開発プロジェクト等の状況

・特になし。

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が事業着手前の90%以上であることから、「a」とした。

中項目評価	a, b, c
-------	---------

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形、地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境等保全指針による保全区分 A, E
- ・希少野生動植物生息の有無 あり
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 あり
- ・その他：一般国道397号新小谷木橋（仮称）景観検討委員会の設立（H23.1月）
詳細デザイン検討委員会の設立（H24.8月）
一般国道397号（仮称）新小谷木橋詳細デザイン検討委員会の設立（H28.12月）

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・事業実施にあたり、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等はない。
 - ・埋蔵文化財包蔵地について発掘調査を行っている。
- 《環境等への配慮に要する経費》
- ・再生アスファルト合材や再生砕石を使用 40,000 千円
 - ・道路環境調査の実施 3,000 千円
 - ・切土・盛土の植生緑化 2,000 千円

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って、積極的な対応をしていることから、「a」とした。

中項目評価	a, b, c
-------	---------

○中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「A」とした。

評価	AA, A, B, C
----	-------------

社会
経済
情勢
等
の
変
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

- (1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性
 ・旧橋(上部工)撤去の一部について、クレーンステージの構造変更による削減額 11,000 千円
- (2) 代替案立案の可能性
 代替案として考えられる他の事業手法
 事業区間のルートは、下記理由により代替案立案の可能性は無い。
 ・都市計画決定済みのルートであること。
 ・橋梁を含め、全区間の用地買収が完了していること。
 ・令和3年5月31日に新橋が供用開始予定であり、今後は旧橋撤去工事を行うものであること。

(1) 総合評価



(事業名) 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型) 小谷木橋

着手年度	完了予定年度	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
				進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H24	R6	10,136	84.5%	A	a	b	AA	a	a	a	73	1.2

(修正B/C=2)

○総合評価に係るコメント

【再評価の総括】

- ・「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、令和3年5月に新橋が供用開始予定であり、今後は、河川管理者との協議内容に基づき、旧橋撤去を行うものである。
- ・残工事は、洪水時の流れの阻害となり、河川氾濫の危険性があるため、旧橋を撤去するものである。
- ・「社会経済情勢等の変化」については、社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。
- ・以上のことから「事業継続」としたものである。

総合評価

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

令和3年5月25日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	一般国道397号	地区名	小谷木橋	市町村 奥州市

1 現在までの事業の経緯等

昭和63年度 8月の集中豪雨により橋脚が損傷
 平成23年度 東日本大震災の余震により、4/16～8/10まで全面通行止め
 平成24年度 大規模事業評価専門委員会より「事業実施妥当」との答申
 社会資本整備総合交付金(復興枠)により新規事業化

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

・当該工区については、奥州市、国道397号北上川橋梁架替期成同盟会、国道397号整備期成同盟会より当該道路の整備促進について要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととする。

(近年の要望対応状況)

○ 国道397号整備促進期成同盟会 (R2. 7月)

3 費用便益分析の詳細(算定方法、算出根拠等)

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル (H30. 2月)、道路投資の評価に関する指針 (案) 第1編 (H10. 6月)、第2編 (H11. 11月)

(単位：百万円)

		事業着手時 H24	今回再評価時		
			R3	残事業B/C	
費用項目	改築費	6,068.0	12,281.5	1,568.5	
	維持費	51.0	78.4	78.4	
	総費用 (C)	6,119.0	12,359.9	1,646.9	
便益項目	3 便益 ①	時間短縮便益	10,529.0	8,232.5	0.0
		走行経費減少便益	1,616.0	863.6	0.0
		事故減少便益	331.0	40.6	0.0
	その他便益 ②	環境改善便益	17.0	58.1	0.0
		拡張便益	4,291.0	6,218.2	0.0
	小計 (①+②)	16,784.0	15,413.0	0.0 ※	
	修正便益 ③	8,358.0	9,384.6	0.0	
	総便益 ①+②+③	25,142.0	24,797.6	0.0	
費用便益比 (B/C)	B(①+②)/C	2.7	1.2	0.0	
(参考)修正費用便益比	B(①+②+③)/C	4.1	2.0	0.0	
将来交通量		8,100台/日 (H32)	7,562台/日 (R12)	7,562台/日 (R12)	

※残工事は旧橋撤去のみであるため、便益は無い。

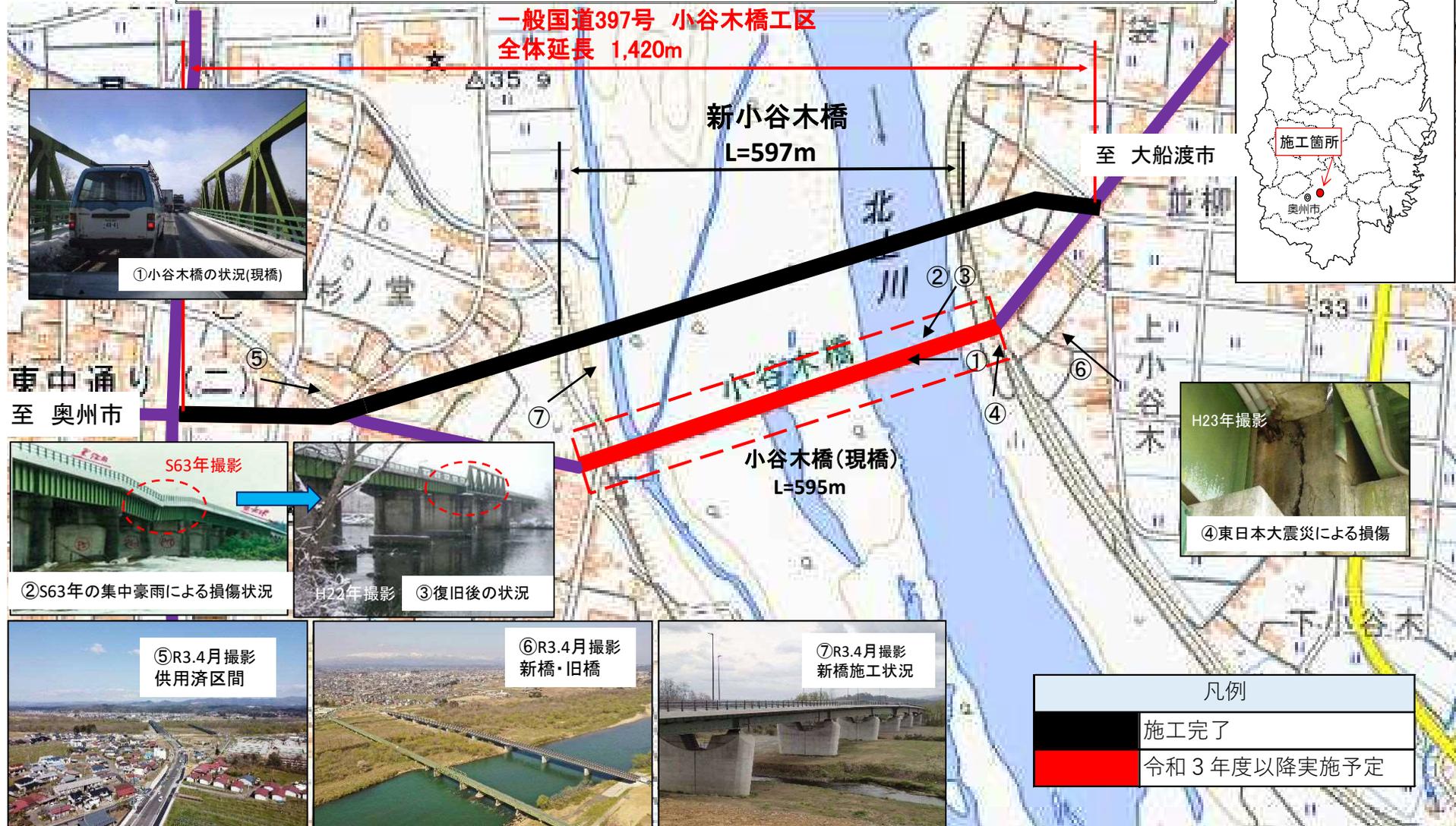
以下の項目については、いずれも基準年 (R12) において現在価値化し便益を算出している。

- ① 改築費 : 道路建設に要する費用
- ② 維持費 : 供用開始後50年間における維持管理費
- ③ 時間短縮便益 : 供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益
- ④ 走行経費減少便益 : 供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果
- ⑤ 事故減少便益 : 供用開始後50年間において、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果
- ⑥ 環境改善便益 : 供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果
- ⑦ 拡張便益 : 供用開始後50年間において、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果
- ⑧ 修正便益 : 東京を基準 (1.0) とし、所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮したもの

4 環境対策の具体的内容

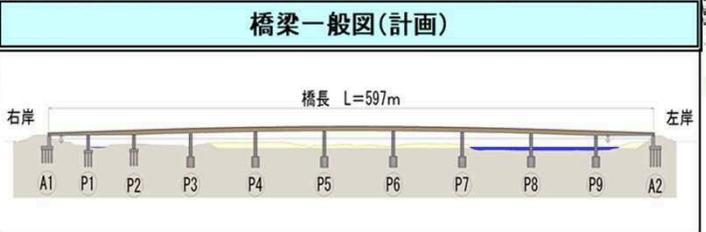
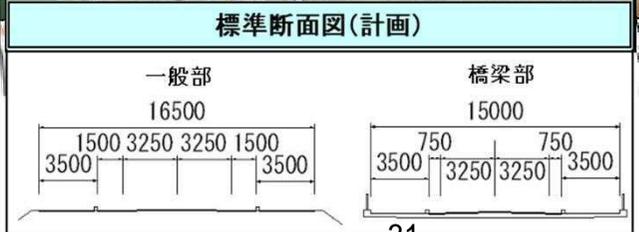
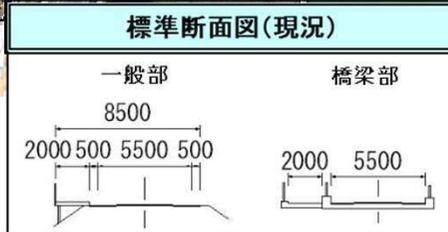
事業実施にあたり、広域局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等は無い。

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) 一般国道397号 小谷木橋 実施状況図



凡例

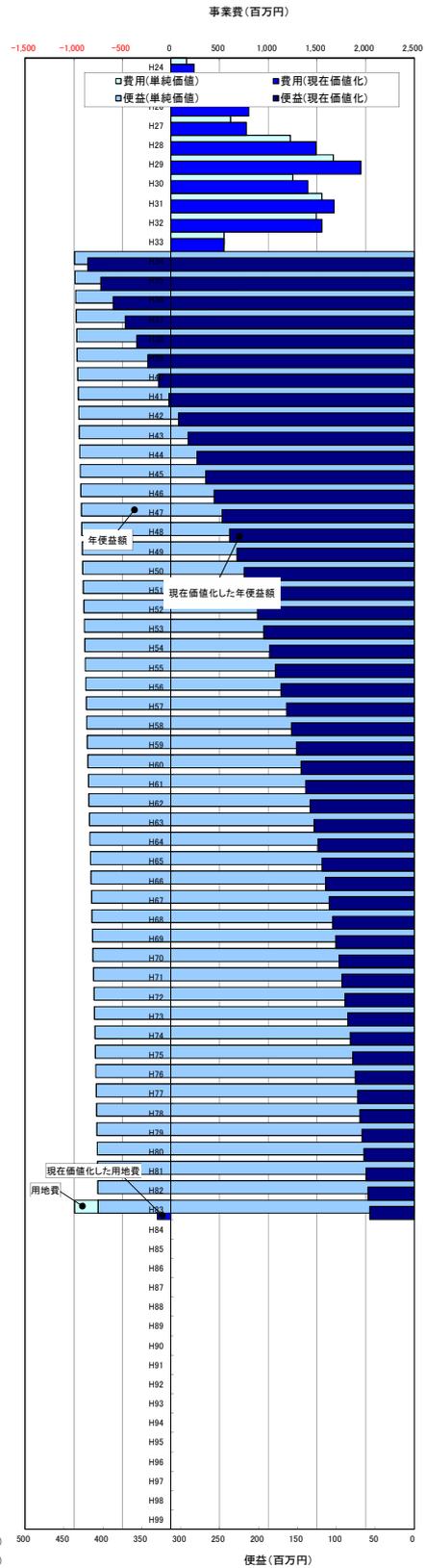
	施工完了
	令和3年度以降実施予定



費用対効果計算書

48

路線名: 397号		地区名: 小谷木橋				単位: 百万円				
の順 年次 別	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益		
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
		費用		現在価値		費用		現在価値		
-10	H24	1.42331	99.0	161	237.9	0	0.0	0.0	0.0	
-9	H25	1.36857	99.0	298	423.5	0	0.0	0.0	0.0	
-8	H26	1.31593	101.5	599	798.3	0	0.0	0.0	0.0	
-7	H27	1.26532	103.0	612	772.9	0	0.0	0.0	0.0	
-6	H28	1.21665	102.8	1,225	1,490.4	0	0.0	0.0	0.0	
-5	H29	1.16986	102.8	1,667	1,950.2	0	0.0	0.0	0.0	
-4	H30	1.12486	102.8	1,250	1,406.1	0	0.0	0.0	0.0	
-3	H31	1.08160	102.8	1,550	1,676.5	0	0.0	0.0	0.0	
-2	H32	1.04000	102.8	1,491	1,550.6	0	0.0	0.0	0.0	
-1	H33	1.00000	102.8	546	546.0	0	0.0	0.0	0.0	
0	H34	0.96154	102.8	485	466.3	3,6494	3.5	436.2	419.4	
1	H35	0.92456	102.8	744	687.9	3,6494	3.4	435.6	402.7	
2	H36	0.88900	102.8	466	414.3	3,6494	3.2	434.9	386.6	
3	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,6494	3.1	434.3	371.2	
4	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,6494	3.0	433.6	356.4	
5	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,6494	2.9	433.0	342.2	
6	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,6494	2.8	432.3	328.5	
7	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,6494	2.7	431.7	315.4	
8	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,6494	2.6	431.0	302.8	
9	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,6494	2.5	430.3	290.7	
10	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,6494	2.4	429.7	279.1	
11	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,6494	2.3	429.0	268.0	
12	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,6494	2.2	428.4	257.3	
13	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,6494	2.1	427.7	247.0	
14	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,6494	2.0	427.1	237.2	
15	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,6494	1.9	426.4	227.7	
16	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,6494	1.9	425.8	218.6	
17	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,6494	1.8	425.1	209.8	
18	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,6494	1.7	424.5	201.5	
19	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,6494	1.7	423.8	193.4	
20	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,6494	1.6	423.2	185.7	
21	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,6494	1.5	422.5	178.3	
22	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,6494	1.5	421.9	171.2	
23	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,6494	1.4	421.2	164.3	
24	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,6494	1.4	420.6	157.8	
25	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,6494	1.3	419.9	151.5	
26	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,6494	1.3	419.3	145.4	
27	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,6494	1.2	418.6	139.6	
28	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,6494	1.2	418.0	134.0	
29	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,6494	1.1	417.3	128.7	
30	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,6494	1.1	416.6	123.5	
31	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	416.0	118.6	
32	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	415.3	113.8	
33	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	414.6	109.3	
34	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	414.0	104.9	
35	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	413.3	100.7	
36	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	412.7	96.7	
37	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	412.0	92.8	
38	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	411.4	89.1	
39	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	410.8	85.6	
40	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	410.2	82.2	
41	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	409.7	78.9	
42	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	409.1	75.8	
43	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	408.6	72.7	
44	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	408.1	69.9	
45	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	407.7	67.1	
46	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	407.2	64.5	
47	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	406.8	61.9	
48	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,6494	0.5	406.5	59.5	
49	H83	0.14071	102.8	-992	-139.5	3,6494	0.5	406.2	57.2	
50	H84	0.13530	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
51	H85	0.13010	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
52	H86	0.12509	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
53	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
54	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
55	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
56	H90	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
57	H91	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
58	H92	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
59	H93	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
60	H94	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
61	H95	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
62	H96	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
63	H97	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
64	H98	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
65	H99	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	
				10,102	12,281	182	79	21,020	9,137	①
								拡張便益	6,276	②
								総便益	15,413	①+②
								(参考) 修正便益	9,385	③



総便益B(①+②) 15,413 百万円
 総事業費C 12,360 百万円

B/C= 1.2

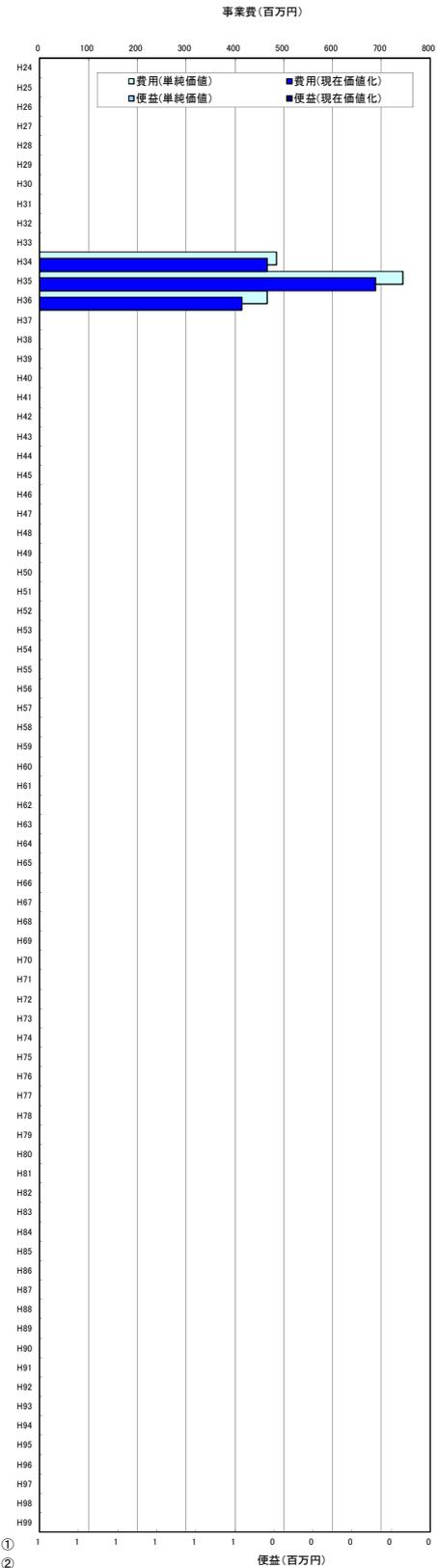
(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 2.0

残事業費B/C

費用対効果計算書

48

路線名: 397号		地区名: 小谷木橋				単位: 百万円			
の順 年次 区 分	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益	
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値
				費用	現在価値	費用	現在価値		
-10	H24	1.42331	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-9	H25	1.36857	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-8	H26	1.31593	101.5	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-7	H27	1.26532	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H28	1.21665	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-5	H29	1.16986	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-4	H30	1.12486	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H31	1.08160	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-2	H32	1.04000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-1	H33	1.00000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
0	H34	0.96154	102.8	485	466.3	3,6494	3.5	0.0	0.0
1	H35	0.92456	102.8	744	687.9	3,6494	3.4	0.0	0.0
2	H36	0.88900	102.8	466	414.3	3,6494	3.2	0.0	0.0
3	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,6494	3.1	0.0	0.0
4	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,6494	3.0	0.0	0.0
5	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,6494	2.9	0.0	0.0
6	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,6494	2.8	0.0	0.0
7	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,6494	2.7	0.0	0.0
8	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,6494	2.6	0.0	0.0
9	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,6494	2.5	0.0	0.0
10	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,6494	2.4	0.0	0.0
11	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,6494	2.3	0.0	0.0
12	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,6494	2.2	0.0	0.0
13	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,6494	2.1	0.0	0.0
14	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,6494	2.0	0.0	0.0
15	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,6494	1.9	0.0	0.0
16	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,6494	1.9	0.0	0.0
17	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,6494	1.8	0.0	0.0
18	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,6494	1.7	0.0	0.0
19	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,6494	1.7	0.0	0.0
20	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,6494	1.6	0.0	0.0
21	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,6494	1.5	0.0	0.0
22	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,6494	1.5	0.0	0.0
23	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,6494	1.4	0.0	0.0
24	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,6494	1.4	0.0	0.0
25	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,6494	1.3	0.0	0.0
26	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,6494	1.3	0.0	0.0
27	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,6494	1.2	0.0	0.0
28	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,6494	1.2	0.0	0.0
29	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,6494	1.1	0.0	0.0
30	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,6494	1.1	0.0	0.0
31	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	0.0	0.0
32	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	0.0	0.0
33	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,6494	1.0	0.0	0.0
34	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	0.0	0.0
35	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	0.0	0.0
36	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,6494	0.9	0.0	0.0
37	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	0.0	0.0
38	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	0.0	0.0
39	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,6494	0.8	0.0	0.0
40	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	0.0	0.0
41	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	0.0	0.0
42	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,6494	0.7	0.0	0.0
43	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	0.0	0.0
44	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	0.0	0.0
45	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	0.0	0.0
46	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	0.0	0.0
47	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,6494	0.6	0.0	0.0
48	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,6494	0.5	0.0	0.0
49	H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,6494	0.5	0.0	0.0
50	H84	0.13530	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H85	0.13010	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H86	0.12509	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
53	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
54	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
55	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
56	H90	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
57	H91	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
58	H92	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
59	H93	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
60	H94	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
61	H95	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
62	H96	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
63	H97	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
64	H98	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
65	H99	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				1,695	1,569	182	79	0	0
						拡張便益	0	0	0
						総便益	0	0	0
						(参考) 修正便益	0	0	0



総便益B(①+②) 0 百万円
 総事業費C 1,647 百万円

B/C= 0.0

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 0.0

大規模事業再評価の概要

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）

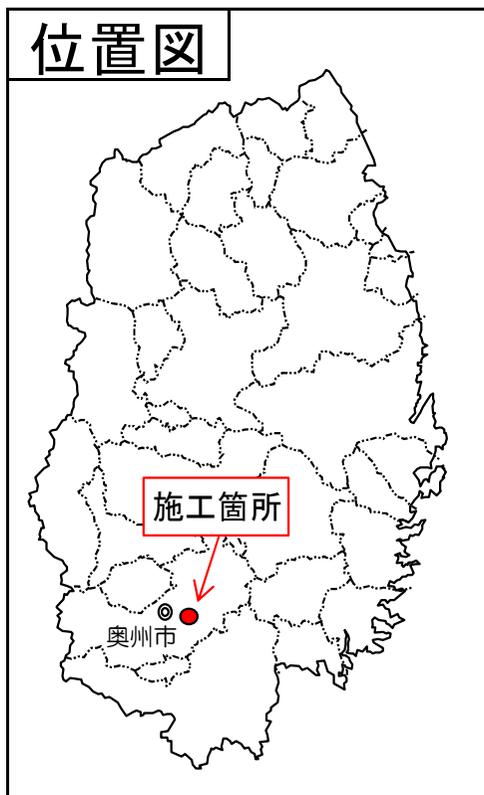
一般国道397号 小谷木橋

令和3年6月8日
県土整備部 道路建設課

1 事業概要①(事業目的)

○路線の位置付け

- ・岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由し、秋田県横手市に至る幹線道路
- ・産業経済・観光等を支える沿線住民の生活道路



1 事業概要②(事業目的)

○事業目的

(1) 小谷木橋(橋長L=595.3m)

- ・昭和29年に架橋した老朽橋
- ・幅員狭小による大型車すれ違い困難
- ・豪雨による増水により損傷(S63)
- ・東日本大震災により通行止め(H23)



▲増水により橋脚が陥没



▲修理後の橋



▲幅員狭小状況(橋梁部)



▲東日本大震災による損傷(橋台)



1 事業概要③(事業目的)

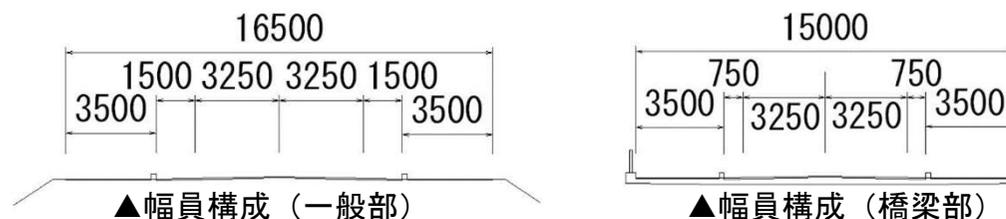
○整備によって得られる効果

(1) 橋梁の老朽化の解消

(2) 大型車すれ違い困難箇所の解消、歩行者の安全確保

→安全で円滑な交通機能の確保

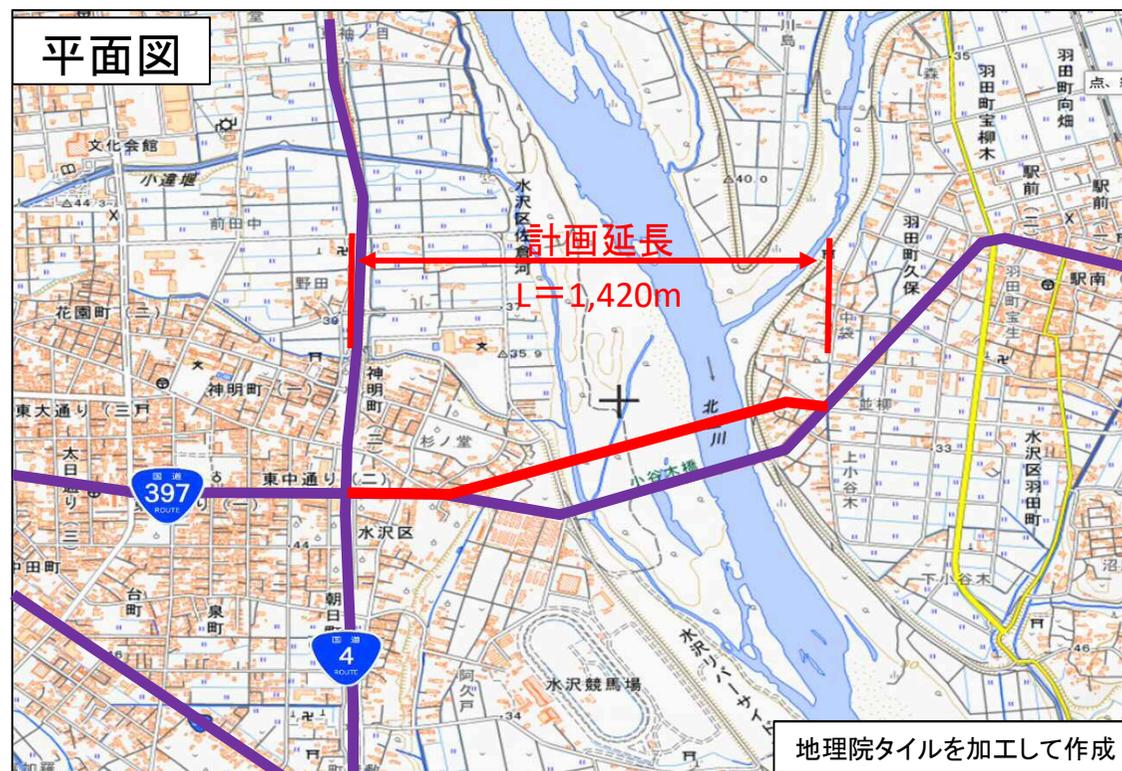
標準断面図



計画概要

- 計画延長 L=1,420m
(うち橋梁 L=597m)
- 計画幅員 (一般部) W=6.5(16.5)m
(橋梁部) W=6.5(15.0)m
- 事業計画期間 平成24年度 ~ 令和6年度
- 総事業費 当初計画 8,460百万円
再評価時 12,000百万円

平面図



2 事業の進捗状況等①

(1) 事業の進捗状況 【事業期間】

- ・ 令和2年12月に旧橋撤去(上部工)工事を契約
- ・ 令和3年5月31日に新小谷木橋が供用を開始

順調に工事が進んでおり、事業完了の目処が立っている。→中項目評価：a

2 事業の進捗状況等②

(2) 事業計画の変更の有無及び内容【事業費】

増額理由	3,540百万円
①旧橋撤去による増額	1,500百万円
②社会的要因による増額	2,040百万円

①旧橋撤去による増額

- ・河川管理者との協議により、旧橋の下部工を最深河床高より2m深い位置まで撤去することとなり、撤去範囲に追加が生じたことによる増額

②社会的要因による増額

- ・労務費・資材単価等の上昇による増額

金額が増額となったものの、事業内容等に大幅な変更はない →中項目評価:b

中項目評価「a」、「b」であることから、大項目評価を「A」とする。

3 社会経済情勢等の変化①

(1) 事業に関する社会経済情勢

本県内および施工地域において、議論や見直しの検討はない →中項目評価:a

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標	事業着手時 評点(A) H24	今回再評価時 評点(B) R3	増減 (B)-(A)	備考
必要性	16	16	0	
重要性	27	27	0	
緊急性	10	10	0	
効率性	18	15	-3	B/C=1.2
熟度	4	5	+1	用地進捗率:100%
計	75	73	-2	(今回再評価/前回事前評価) 97%

各評価指標の評定の合計が、事業着手時の90%以上である →中項目評価:a

3 社会経済情勢等の変化②

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

状況	岩手県自然環境等保全指針による保全区分：「A」「E」
	希少野生動植物検生息の有無：「あり」
	埋蔵文化財包蔵地の有無；「あり」
対応	希少野生動植物検討委員会へ諮問 →施工に対する意見なし
	埋蔵文化財包蔵地について、発掘調査を実施
環境配慮	再生アスファルト合材や再生砕石の使用
	道路環境調査の実施
	切土・盛土の植生緑化

A: 自然度が高く、かつ偏在する特に重要な植生を含む地域。特に重要な動植物が生息・生育する地域

B: 自然度の高い重要な植生を含む地域。重要な動植物種が生息・生育する地域

C: 里山など二次的自然環境の中でも比較的的自然度が高いと判断される重要な植生を含む地域

D: 里山など二次的自然環境の中でも比較的人為性が強いと判断される環境を含む地域

E: 概ね人為的環境となっている地域

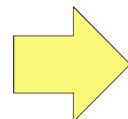
自然環境保全指針に沿って積極的な対応をしている →中項目評価:a

中項目評価 「a」、「a」、「a」 であることから、大項目評価を「AA」とする。

4 コスト縮減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

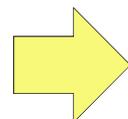
- ・旧橋(上部工)の一部について
クレーンステージの構造変更による縮減



約11,000千円の縮減

(2) 代替案立案の可能性

- ・都市計画決定済みのルート
- ・用地取得率100%
- ・令和3年5月31日に新橋の供用を
開始しており、今後は旧橋撤去のみ



代替案立案の可能性は無い

5 総合評価

着手年度	完了予定年度	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1)事業進捗状況			(2)社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C
H24	R6	10,136	84.5%	A	a	b	AA	a	a	a	73	1.2

(修正B/C=2.0)

「事業の進捗状況等」 大項目評価：**A**

総事業費の変更はあるものの、令和3年5月に新橋が供用済みであり、
 今後は、河川管理者との協議内容に基づき旧橋撤去を行うものである。

「社会経済情勢等の変化」 大項目評価：**AA**

社会情勢に大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に
 事業を推進している。



事業継続

大規模公共事業評価再評価調書の概要

おぐらやま 小倉山の2 地域連携道路整備事業（地域密着型）

担当部：県土整備部 道路建設課

1 事業概要（路線名：主要地方道花巻大曲線、所在市町村：西和賀町）

○事業目的： 主要地方道花巻大曲線は、岩手県花巻市の国道4号を起点とし、西和賀町を經由し、秋田県大仙市に至る幹線道路である。

花巻市と西和賀町の間にある中山峠を含む当該地区は、幅員狭小・急勾配・急カーブが連続し、また、落石や積雪による通行止めが度々発生しており、円滑な交通の支障となっている。

このことから、当該事業においてこれらを解消し、安全で円滑な交通の確保を行うとともに、観光周遊ルートの形成や物流支援、緊急医療へのアクセス向上に資するものである。

○事業内容：計画延長 L=2,380m、計画幅員 W=5.5(7.0) m

道路改良 L=940m

4号トンネル L=1,034m、5号トンネル L=294m

8号橋 L=41m、9号橋 L=40m、10号橋 L=25m

○事業期間：平成14年度～令和6年度（前回再評価時：令和6年度）

○総事業費：6,700百万円（前回再評価時：6,370百万円）

令和3年度までの投資額：5,039百万円、進捗率：75.2%（事業費ベース）

2 事業の進捗状況等

○計画延長2,380mのうち、終点から900m区間（5号トンネル、9号橋、10号橋）の整備が完了しており、通行の安全性・快適性が向上している。

○用地買収がすべて完了しており、8号橋の上部工が完成しているほか、令和3年5月までに4号トンネル1,034mのうち590mの掘削が完了している。

3 社会経済情勢等の変化

○社会経済情勢等の大きな変化はなく、事業費の増額はあるものの順調に事業を推進している。

○花巻市、西和賀町のほか、主要地方道花巻大曲線花巻沢内間整備促進期成同盟会から整備促進を求める要望がある。

4 コスト縮減対策及び代替案

○LED照明灯への変更により、31百万円の縮減を図ることとしている。

○事業進捗率は75.2%（事業費ベース）であり、現時点で予想される社会経済情勢、自然環境等の大きな変化が無い場合、代替案立案の可能性は無い。

5 総合評価

○事業全体のB/Cは0.6未満であるため、「要検討」と評価した。

○「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、用地取得は完了しており、900mを部分供用しているほか、主要構造物である4号トンネル築造工事が順調に進んでいる。

○「社会経済情勢等の変化」については、現道において、度々法面の崩落や積雪による全面通行止めを行っており、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保へ大きな影響を及ぼしている。

○以上のことから、総合評価を「事業継続」とした。

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)		補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課															
路線名等	主要地方道花巻大曲線	地区名	おぐらやま 小倉山の 2		市町村	西和賀町														
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○路線の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要地方道花巻大曲線は、花巻市の国道4号を起点として、西和賀町を經由し、秋田県大仙市に至る幹線道路である。 花巻市と西和賀町の間にある中山峠を含む当該地区は、幅員狭小・急勾配・急カーブが連続し、また、落石や積雪による通行止めが度々発生しており、円滑な交通の支障となっている。 <p>○整備によって得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小や急勾配、急カーブの解消により安全で円滑な交通機能が確保される。 観光周遊ルートの形成や物流支援、緊急医療へのアクセス向上につながる。 <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画延長：L=2,380m、計画幅員：W=5.5(7.0)m 4号トンネル：L=1,034m、5号トンネル：L=294m（供用済） 8号橋：L=41m、9号橋：L=40m（供用済）、10号橋：L=25m（供用済） <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小や急カーブのほか、落石等の通行危険箇所の解消：2,380m 																			
	事業着手	H14年度	事業計画期	H14	～	R6 H20	今回再評価時全体計画期間 前回再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)	用地着手	H14年度	工事着手	H14年度									
要	事業費の状況 [百万円]																			
	当初計画 総事業費 (H14年) (うち用地費)	前回 再評価時 総事業費 (H28年) (うち用地費)	再評価時 総事業費 (R3年)A (うち用地費)	H14年 ～ R1年			R2年	R3年	投資事業費	進捗率										
	B	C	D	E=B+C+D	財源		F=E/A													
事業費	5,000.0 (10.0)	6,370.0 (10.2)	6,700.0 (12.5)	3,485.2 (11.8)	1,012.8 (0.0)	541.0 (0.7)	5,039.0 (12.5)	国庫 2,648.7 県 2,390.3 他 0.0	75.2%											
事業の進捗状況等	(1) 事業の進捗状況																			
	<p>ア 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在までに、全体2,380mのうち終点側900m（5号トンネル、9号橋、10号橋）が完成しており、平成19年2月に部分供用を開始している。 <p>イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <p>令和元年度 8号橋上部工工事が完了</p> <p>令和2年度 4号トンネル掘削工事に着手</p> <p>令和3年度 4号トンネル掘削工事の進捗状況：掘削延長590m</p> <p>令和6年度 事業完了予定</p> <p>○中項目評価は、事業進捗は順調であり、完成の見通しが立っていることから「a」とした。</p>																			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>中項目評価</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td>,</td> <td>b</td> <td>,</td> <td>c</td> </tr> </table>											中項目評価	a	,	b	,	c			
中項目評価	a	,	b	,	c															
(2) 事業計画の変更の有無及び内容																				
<p>総事業費 6,370百万円 → 6,700百万円</p> <p>① トンネル工において、重金属が含まれる地質が確認されたことによる対策工の検討及び追加による増額</p> <p>② トンネル掘削における脆弱な地層に伴う増額</p>																				
<p>○金額は増額となるものの、事業内容等に大幅な変更はないため、中項目評価を「b」とした。</p>																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>a</td> <td>,</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</td> <td>,</td> <td>c</td> </tr> </table>											中項目評価	a	,	b	,	c				
中項目評価	a	,	b	,	c															
<p>○中項目評価が、「a」、「b」で有ることから、大項目評価を「A」とした。</p>																				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>評価</td> <td>AA</td> <td>,</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">A</td> <td>,</td> <td>BB</td> <td>,</td> <td>B</td> <td>,</td> <td>C</td> </tr> </table>											評価	AA	,	A	,	BB	,	B	,	C
評価	AA	,	A	,	BB	,	B	,	C											

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・「被災地の復旧・復興、防災・減災対策」、「社会資本の老朽化への対応」、「国民生活の安全・安心の確保」、「生産性を向上させる社会資本整備」、「魅力ある地域づくり」等、広範な分野にわたって重要な政策を展開している。
- ・近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、集中的に取り組んでいくこととしている。

イ 本県内の状況

- ・「いわて県民計画（2019～2028）」においては、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を重点的な政策の柱として掲げており、この中で道路整備は、地域産業の競争力の向上を目指し、工業製品や農林水産物等の物流の円滑化を図る幹線道路ネットワークを構築することや、地域間の交流・連携の基盤となる広域振興圏相互や隣接県を結ぶ道路の整備を推進するとともに、通勤・通学などの日常生活を支える道作りを進めることとしている。

ウ 施工地域における状況

- ・花巻市、西和賀町のほか、主要地方道花巻大曲線花巻沢内間整備促進期成同盟会より早期開通の要望が出ている。
- ・平成30年度に2度（落石）、令和2年度に1度（仮設道路の流出）全面通行止めが発生している。

○ 中項目評価は、本県内および施工地域において議論や見直しの検討は無いことから「a」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

(2) 事業に関する評価指標の推移

	評価指標	配点	事業着手時 評点 H14	前回再評価時 評点(A) H28	今回再評価時 評点(B) R3	増減 (B)-(A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況3.5m)	5 (現況3.5m)	5 (現況3.5m)	0	現況最小幅員3.5m <規定値-2m(6.5m)
	曲線半径	5	5 (現況15m)	5 (現況15m)	5 (現況15m)	0	現況最小曲線半径15m <-10km/h縮小値(50m)
	縦断勾配	5	5 (現況8.0%)	5 (現況8.0%)	5 (現況8.0%)	0	現況最急縦断勾配8% >-10km/h特例値(7.5%)
	歩道設置の必要性	3	0 (不要)	0 (不要)	0 (不要)	0	
	混雑度	2	0 (0.12)	0 (0.05)	0 (0.02)	0	
	定時性	2	1 (8.0km/h)	0 (0.0km/h)	0 (0.0km/h)	0	
	事故率	3	0 (0件/億台キロ)	0 (0件/億台キロ)	0 (0件/億台キロ)	0	
	過疎地域等の振興	5	5 (過疎山村地域)	5 (過疎山村地域)	5 (過疎山村地域)	0	
	計	30	21	20	20	0	
重要性	ネットワークの位置付け	5	4 (地域形成型広域道路)	4 (地域形成型広域道路)	4 (広域振興圏間主要都市連絡道路)	0	
	産業振興、生活支援	15	9 (2項目)	12 (3項目)	12 (3項目)	0	農業支援、林業支援、観光支援
	計	20	13	16	16	0	
緊急性	関連事業の有無	5	0 (無)	0 (無)	0 (無)	0	
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	5	5 (有)	5 (有)	5 (有)	0	通行危険箇所
	部分供用の有無	2	2 (有)	2 (有)	2 (有)	0	H19に900mを供用済み
	10km以内に迂回道路	3	3 (無)	3 (無)	3 (無)	0	
	計	15	10	10	10	0	
効率性	費用便益費(B/C)	20	18 (B/C=2.5)	0 (B/C=0.5)	0 (B/C=0.4)	0	修正B/C=0.6
	計	20	18	0	0	0	
熟度	用地取得の進捗状況	3	3 (約60%)	3 (100%)	3 (100%)	0	
	地元要望	12	12 (有)	12 (有)	12 (有)	0	
	計	15	15	15	15	0	
	計	100	77	61	61	0	(今回/前回) 100%

○費用便益分析（全線供用による便益計算）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

（単位：百万円）

区分		事業着手時 (基準年：H14)	前回再評価時 (基準年：H28)	今回再評価時 (基準年：R3)
費用項目	改築費	3,895.1	6,192.9	7,931.9
	維持費	99.9	71.0	57.6
	総費用 (C)	3,995.0	6,263.9	7,989.5
便益項目	時間短縮便益	7,953.7	2,134.4	1,025.9
	走行経費減少便益	756.6	605.5	25.5
	事故減少便益	106.2	82.1	0.1
	3便益 ①	8,816.5	2,822.0	1,051.5
	環境改善便益	27.6	23.7	23.5
	拡張便益	1,235.5	227.2	2,195.7
	その他便益 ②	1,263.1	250.9	2,219.2
	小計 ①+②	10,079.6	3,072.9	3,270.7
	修正便益 ③	5,019.6	1,530.3	2,064.0
	総便益 (B) ①+②+③	15,099.2	4,603.2	5,334.7
費用便益比 B (①+②) / C		2.5	0.5	0.4
(参考) 修正費用便益比 B (①+②+③) / C		3.8	0.7	0.6
将来交通量		1,510台/日 (H22)	428台/日 (R12)	176台/日 (R12)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

- ・冬期通行止めの日数（185日間）を便益から控除しており、維持管理費のうち雪寒費を控除している。
- ・基準改定により総便益の考え方を変更。

（前々回再評価時まで （3便益+その他便益+修正便益）
 前回再評価時以降 （3便益+その他便益）

○関連する開発プロジェクト等の状況

- ・なし

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計は前回再評価時との増減は無いものの、B/Cが0.6未満であることから「c」とした。

中項目評価	a , b , c
-------	-----------

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形、地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境等保全指針による保全区分 **B**
- ・希少野生動植物生息の有無 **あり**
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 **なし**

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・事業実施にあたり、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者からの施工に対する意見等は以下のとおり。

①主な助言内容

- ・希少な植物の移植が必要。（町有地土捨場内）

②対応状況

- ・工事区域外へ移植を行った。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生アスファルト合材の利用 22,000 千円
- ・切土・盛土の植生化 5,300 千円
- ・猛禽類のモニタリング調査の実施 38,000 千円

○中項目評価は、自然環境保護指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って、積極的な対応をしていることから、「a」とした。

中項目評価	a , b , c
-------	-----------

○中項目評価が「a」、「c」、「a」であることから、大項目評価を「B」とした。

評価	AA , A , B , C
----	----------------

社会
経済
情勢
等
の
変
化

コスト削減対策及び代替案立案の可能性	(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性 ・ LED照明灯への変更 31,000 千円
	(2) 代替案立案の可能性 代替案として考えられる他の事業手法 事業区間のルートは、下記理由により代替案立案の可能性はない。 ・ 用地買収がすべて完了していること。 ・ 未供用区間においては、8号橋上部工が完成し、4号トンネル築造工事を施工中であり、主要な構造物の整備が進んでいること。 ・ 終点側900mが平成19年11月に供用開始していること。

総合評価	(1) 総合評価																																								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">対応方針案</td> <td style="width: 50%;">事業継続</td> <td style="width: 25%;">要検討</td> <td style="width: 25%;">中止</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="font-size: small;">〔事業継続、見直し継続、休止、中止〕</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) 小倉山の2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">着手年度</th> <th rowspan="2">完了予定年度</th> <th rowspan="2">投資事業費(百万円)</th> <th rowspan="2">進捗率(%)</th> <th colspan="3">(1) 事業進捗状況</th> <th colspan="3">(2) 社会経済情勢</th> <th colspan="2">参考</th> </tr> <tr> <th>進捗状況</th> <th>計画変更</th> <th></th> <th>社会経済</th> <th>評価指標</th> <th>自然環境</th> <th>評点</th> <th>B/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14</td> <td>R6</td> <td>5,039.0</td> <td>75.2%</td> <td>A</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>B</td> <td>a</td> <td>c</td> <td>a</td> <td>61</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(修正B/C=0.6)</p> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>①再評価の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更はあるものの、用地取得率は100%であり、900mを部分供用しているほか、主要構造物である4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、令和6年度内での事業完了の目処が立っている。 ・ 「社会経済情勢等の変化」については、現道において、度々法面の崩落や積雪による全面通行止めを行っており、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保へ大きな影響を及ぼしている。 <p>②対応方針案を「事業継続」とした理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得率は100%であり、主要構造物の4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、事業期間内での竣工の見通しが立っている。 ・ 評点については60点以上であり、前回評価からの点数の増減は無い。 ・ 事業全体のB/Cは0.6未満であるものの、法面の崩落や積雪による全面通行止めの影響により、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの安全性の確保を行うことが必要であることから、事業を着実に推進する必要がある。 ・ なお、評価基準年度以降の総費用、総便益により算出した残事業B/Cは2.2である。 <p>以上の理由により、「事業継続」としたものである。</p>	対応方針案	事業継続	要検討	中止		〔事業継続、見直し継続、休止、中止〕			着手年度	完了予定年度	投資事業費(百万円)	進捗率(%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	H14	R6	5,039.0	75.2%	A	a	b	B	a	c	a	61
対応方針案	事業継続	要検討	中止																																						
	〔事業継続、見直し継続、休止、中止〕																																								
着手年度	完了予定年度	投資事業費(百万円)	進捗率(%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考																															
				進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C																														
H14	R6	5,039.0	75.2%	A	a	b	B	a	c	a	61	0.4																													
	(2) 要検討、中止の場合の対応 今後とも、コスト削減に努め、予算を確保し、工程どおりに事業を進めて参る。																																								

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課
路線名等	主要地方道花巻大曲線	地区名	おぐらやま 小倉山の2	市町村 西和賀町

1 現在までの状況

昭和61年度 当該事業を含む、全延長8,450mについて道路整備事業区間として整備開始
 平成9年度 中山工区（2,120m）の整備が完了。
 平成14年度 川舟工区（1,220m）及び小倉山工区（2,730m）の整備が完了。
小倉山の2工区（2,380m）に事業着手。
 平成19年度 小倉山の2工区のうち、終点側900mの部分供用を開始。
 平成23年度 大規模事業評価専門委員会にて、「事業継続」として諮問し妥当と判断。
 平成28年度 大規模事業評価専門委員会にて、「事業継続」として諮問し妥当と判断。

2 住民意見の状況及びこれに対する対応

当該工区については、花巻市や西和賀町より、当該道路の整備促進に対する要望がある。
 (近年の要望対応状況)

- 花巻市（R2.7月）
- 西和賀町（R2.8月）
- 主要地方道花巻大曲線花巻・沢内整備促進期成同盟会（R2.8月）

3 費用便益分析の詳細（算出方法、算出根拠等）

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（H30.2月）、道路投資の評価に関する指針（案）第1編（H10.6月）、第2編（H11.11月）

(単位：百万円)

費用項目		事業着手時	前回再評価時	今回再評価時		
		H14	H28	R3	残事業B/C	
費用項目	改築費	3,895.1	6,192.9	7,931.9	1,425.6	
	維持費	99.9	71.0	57.6	57.6	
	総費用 (C)	3,995.0	6,263.9	7,989.5	1,483.2	
便益項目	3 便益 ①	時間短縮便益	7,953.7	2,134.4	1,025.9	1,025.9
		走行経費減少便益	756.6	605.5	25.5	25.5
		事故減少便益	106.2	82.1	0.0	0.1
	環境改善便益	27.6	23.7	23.5	23.5	
	拡張便益	1,235.5	227.2	2,314.8	2,195.7	
	その他便益 ②	1,263.1	250.9	2,338.3	2,219.2	
	小計 (①+②)	10,079.6	3,072.9	3,389.7	3,270.7	
	修正便益 ③	5,019.6	1,530.3	2,063.9	2,064.0	
	総便益 ①+②+③	15,099.2	4,603.2	5,453.6	5,334.7	
	費用便益比 (B/C)	B(①+②)/C	2.5	0.5	0.4	2.2
(参考)修正費用便益比3(①+②+③)/C		3.8	0.7	0.6	3.5	
将来交通量		1,510台/日(H32)	428台/日(R12)	176台/日(R12)	176台/日(R12)	

以下の項目については、いずれも基準年（R12）において現在価値化し便益を算出している。

- ① 改築費：道路建設に要する費用
- ② 維持費：供用開始後50年間における維持管理費
- ③ 時間短縮便益：供用開始後50年間に得られる時間短縮における利益
- ④ 走行経費減少便益：供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果
- ⑤ 事故減少便益：供用開始後50年間において、発生する恐れのある人身または物損事故などの公的損害や、事故により発生する交通渋滞における損失の減少効果
- ⑥ 環境改善便益：供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化に対する減少効果
- ⑦ 拡張便益：供用開始後50年間において、走行時の快適性や救急医療施設へのアクセスの確保による緊急時の安心感などの効果
- ⑧ 修正便益：東京を基準（1.0）とし、所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮したもの

4 環境対策の具体的内容

専門家による現地調査の結果により、施工についての指示事項等はない。

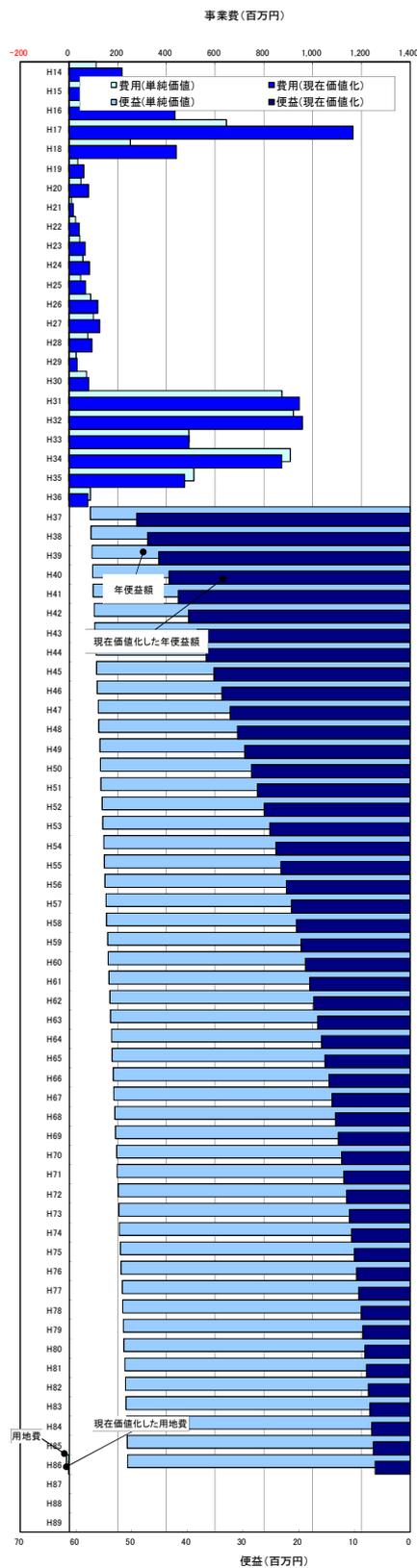
地域連携道路整備事業(地域密着型) (主)花巻大曲線 小倉山の2 実施状況図



費用対効果計算書

48

路線名：花巻大曲線			地区名：小倉山の2				単位：百万円		
年度	現在価値割引率	GDPデフレーター	費用				便益		
			建設費		維持管理費		便益額	現在価値	
			費用	現在価値	費用	現在価値			
-23	H14	2.10885	110.5	111	217.6	0	0.0	0.0	0.0
-22	H15	2.02582	109.0	513	980.1	0	0.0	0.0	0.0
-21	H16	1.94790	107.9	234	434.3	0	0.0	0.0	0.0
-20	H17	1.87298	106.7	646	1,165.7	0	0.0	0.0	0.0
-19	H18	1.80094	105.9	252	440.6	0	0.0	0.0	0.0
-18	H19	1.73168	105.0	36	61.0	0	0.0	0.0	0.0
-17	H20	1.66507	104.4	49	80.3	0	0.0	0.0	0.0
-16	H21	1.60103	103.0	11	17.6	0	0.0	0.0	0.0
-15	H22	1.53945	101.3	27	42.2	0	0.0	0.0	0.0
-14	H23	1.48024	99.8	44	67.1	0	0.0	0.0	0.0
-13	H24	1.42331	99.0	57	84.2	0	0.0	0.0	0.0
-12	H25	1.36857	99.0	48	68.2	0	0.0	0.0	0.0
-11	H26	1.31593	101.5	89	118.6	0	0.0	0.0	0.0
-10	H27	1.26532	103.0	100	126.3	0	0.0	0.0	0.0
-9	H28	1.21665	102.8	77	93.7	0	0.0	0.0	0.0
-8	H29	1.16986	102.8	29	33.9	0	0.0	0.0	0.0
-7	H30	1.12486	102.8	72	81.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H31	1.08160	102.8	874	945.3	0	0.0	0.0	0.0
-5	H32	1.04000	102.8	921	957.8	0	0.0	0.0	0.0
-4	H33	1.00000	102.8	492	492.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H34	0.96154	102.8	908	873.1	0	0.0	0.0	0.0
-2	H35	0.92456	102.8	513	474.3	0	0.0	0.0	0.0
-1	H36	0.88900	102.8	88	78.2	0	0.0	0.0	0.0
0	H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.6	57.4	49.1
1	H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.5	57.3	47.1
2	H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.4	57.1	45.1
3	H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.3	57.0	43.3
4	H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.2	56.9	41.6
5	H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.1	56.7	39.8
6	H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.6	38.2
7	H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.4	36.6
8	H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.9	56.3	35.2
9	H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.8	56.2	33.8
10	H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	56.0	32.3
11	H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	55.9	31.0
12	H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.6	55.7	29.7
13	H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.6	28.5
14	H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.5	27.4
15	H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.3	26.2
16	H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.2	25.2
17	H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	55.0	24.1
18	H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	54.9	23.2
19	H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.8	22.2
20	H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.6	21.3
21	H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.5	20.4
22	H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.3	19.6
23	H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.2	18.8
24	H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.1	18.0
25	H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	53.9	17.3
26	H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.8	16.6
27	H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.6	15.9
28	H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.5	15.3
29	H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.3	14.6
30	H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.2	14.0
31	H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.0	13.4
32	H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.9	12.9
33	H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.7	12.3
34	H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.6	11.9
35	H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.4	11.4
36	H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.3	10.9
37	H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.2	10.5
38	H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.0	10.0
39	H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	51.9	9.6
40	H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.7	9.2
41	H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.6	8.8
42	H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.5	8.5
43	H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.4	8.1
44	H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.2	7.8
45	H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.1	7.5
46	H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.0	7.2
47	H84	0.13530	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.9	6.9
48	H85	0.13010	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.8	6.6
49	H86	0.12509	102.8	-10	-1.2	3,016,405.5	0.4	50.7	6.3
50	H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
			6,181	7,932	151	58	2,699	1,051	①
							拡張便益	2,219	②
							総便益	3,270	①+②
							(参考) 修正便益	1,992	③



総便益B(①+②) 3,270 百万円
 総事業費C 7,990 百万円

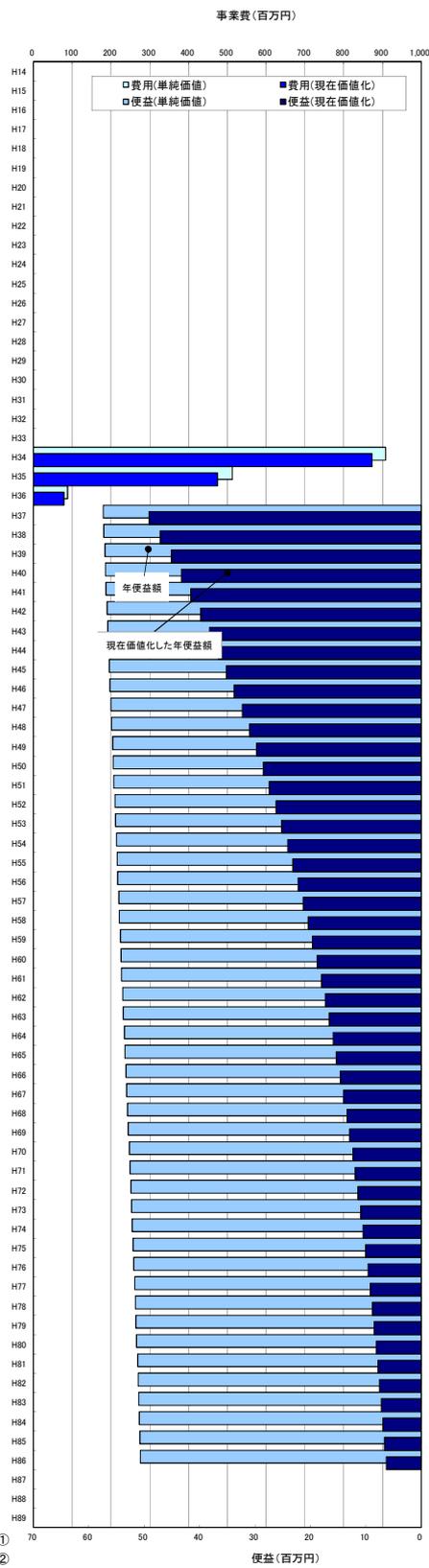
B/C= 0.4

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 0.6

費用対効果計算書

48

路線名: 花巻大曲線 年度	現在価値 割引率	GDP デフレーター	地区名: 小倉山の2				単位: 百万円	
			費用				便益	
			建設費		維持管理費		便益額	現在価値
			費用	現在価値	費用	現在価値		
-23 H14	2.10885	110.5	0	0.0	0	0.0	0.0	
-22 H15	2.02582	109.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-21 H16	1.94790	107.9	0	0.0	0	0.0	0.0	
-20 H17	1.87298	106.7	0	0.0	0	0.0	0.0	
-19 H18	1.80094	105.9	0	0.0	0	0.0	0.0	
-18 H19	1.73168	105.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-17 H20	1.66507	104.4	0	0.0	0	0.0	0.0	
-16 H21	1.60103	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-15 H22	1.53945	101.3	0	0.0	0	0.0	0.0	
-14 H23	1.48024	99.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-13 H24	1.42331	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-12 H25	1.36857	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-11 H26	1.31593	101.5	0	0.0	0	0.0	0.0	
-10 H27	1.26532	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	
-9 H28	1.21665	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-8 H29	1.16986	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-7 H30	1.12486	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-6 H31	1.08160	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-5 H32	1.04000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-4 H33	1.00000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
-3 H34	0.96154	102.8	908	873.1	0	0.0	0.0	
-2 H35	0.92456	102.8	513	474.3	0	0.0	0.0	
-1 H36	0.88900	102.8	88	78.2	0	0.0	0.0	
0 H37	0.85480	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.6	57.4	
1 H38	0.82193	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.5	57.3	
2 H39	0.79031	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.4	57.1	
3 H40	0.75992	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.3	57.0	
4 H41	0.73069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.2	56.9	
5 H42	0.70259	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.1	56.7	
6 H43	0.67556	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.6	
7 H44	0.64958	102.8	0	0.0	3,016,405.5	2.0	56.4	
8 H45	0.62460	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.9	56.3	
9 H46	0.60057	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.8	56.2	
10 H47	0.57748	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	56.0	
11 H48	0.55526	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.7	55.9	
12 H49	0.53391	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.6	55.7	
13 H50	0.51337	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.6	
14 H51	0.49363	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.5	55.5	
15 H52	0.47464	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.3	
16 H53	0.45639	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.4	55.2	
17 H54	0.43883	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	55.0	
18 H55	0.42196	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.3	54.9	
19 H56	0.40573	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.8	
20 H57	0.39012	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.2	54.6	
21 H58	0.37512	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.5	
22 H59	0.36069	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.1	54.3	
23 H60	0.34682	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.2	
24 H61	0.33348	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	54.1	
25 H62	0.32065	102.8	0	0.0	3,016,405.5	1.0	53.9	
26 H63	0.30832	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.8	
27 H64	0.29646	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.6	
28 H65	0.28506	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.9	53.5	
29 H66	0.27409	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.3	
30 H67	0.26355	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.2	
31 H68	0.25342	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.8	53.0	
32 H69	0.24367	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.9	
33 H70	0.23430	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.7	
34 H71	0.22529	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.6	
35 H72	0.21662	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.7	52.4	
36 H73	0.20829	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.3	
37 H74	0.20028	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.2	
38 H75	0.19257	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	52.0	
39 H76	0.18517	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.6	51.9	
40 H77	0.17805	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.7	
41 H78	0.17120	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.6	
42 H79	0.16461	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.5	
43 H80	0.15828	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.4	
44 H81	0.15219	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.5	51.2	
45 H82	0.14634	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.1	
46 H83	0.14071	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	51.0	
47 H84	0.13530	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.9	
48 H85	0.13010	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.8	
49 H86	0.12509	102.8	0	0.0	3,016,405.5	0.4	50.7	
50 H87	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
51 H88	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
52 H89	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	
			1,508	1,426	151	58	2,699	
					拡張便益		2,219 ①	
					総便益		3,270 ①+②	



(参考) 修正便益 1,992 ③

総便益B(①+②) 3,270 百万円
 総事業費C 1,483 百万円

B/C= 2.2

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 3.5

大規模事業再評価の概要

地域連携道路整備事業（地域密着型）

主要地方道花巻大曲線 小倉山の2

令和3年6月8日
県土整備部 道路建設課

1 事業概要①(事業目的)

○路線の位置付け

- ・ 岩手県花巻市から、西和賀町を經由し、秋田県大仙市へ至る幹線道路
- ・ 観光周遊ルートや物流支援、緊急医療へのアクセスルート



1 事業概要②(事業目的)

○整備目標

- ・ 幅員狭小や急勾配、急カーブの解消
- ・ 落石等の通行危険箇所の解消

(参考) 通行止め発生履歴 (過去10年間)

H23. 6. 24~H23. 11. 16 《路肩決壊》
H25. 5. 10~H25. 5. 31 《落石の恐れ》
H26. 11. 14~H26. 11. 28 《積雪》
H28. 11. 9~H28. 11. 10 《積雪》
H28. 12. 2~H28. 12. 2 《倒木》
H28. 12. 6~H28. 12. 12 《積雪》
H30. 5. 7~R 1. 10. 5 《土砂崩落》
R 2. 7. 28~R 2. 8. 19 《道路決壊》

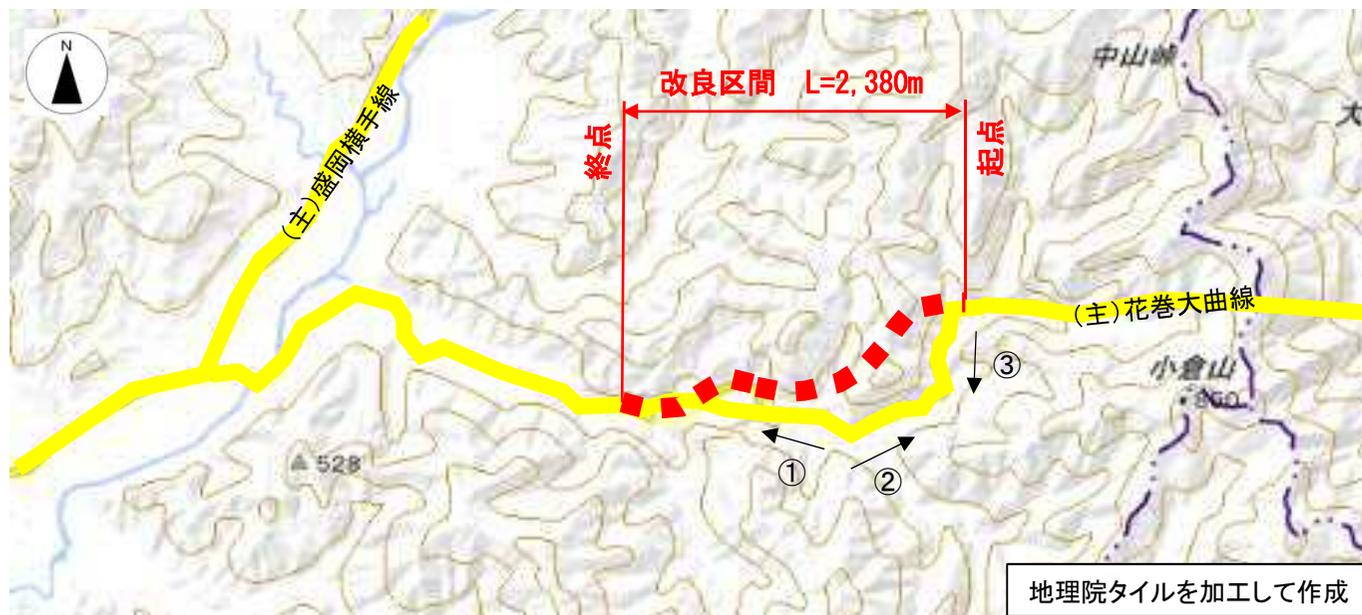
①幅員狭小の状況



②土砂崩落状況 (H30. 5月)



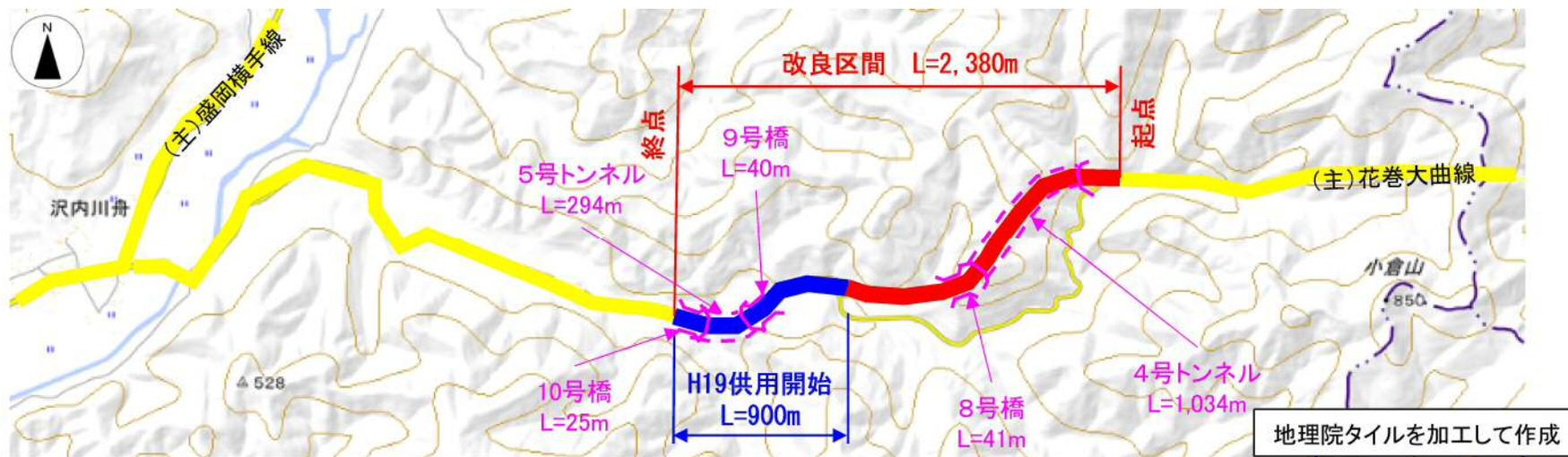
③土砂崩落状況 (H30. 10月)



1 事業概要②(事業目的)

○整備によって得られる効果

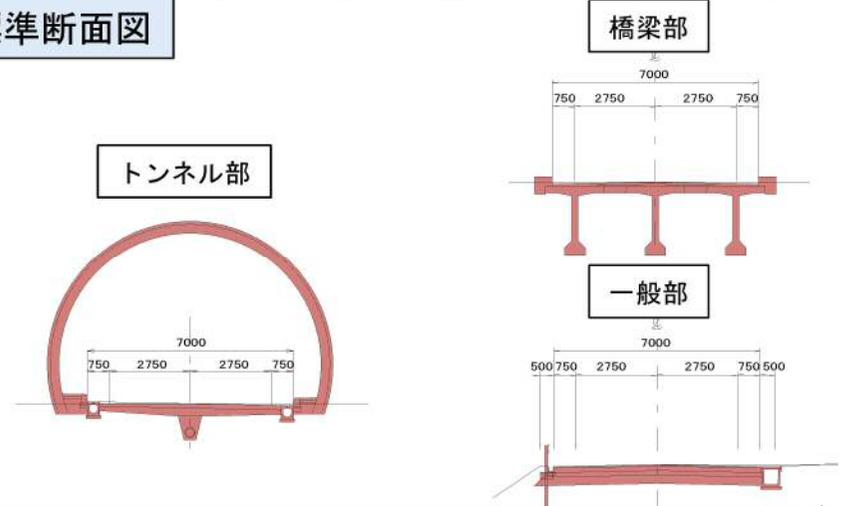
- (1) 幅員狭小や急勾配、急カーブの解消による安全で円滑な交通の確保
- (2) 花巻市、西和賀町を中心とする観光周遊ルートの確保
- (3) 物流支援と緊急医療へのアクセスルートの確保



計画概要

- 計画延長 : L=2,380m
- 計画幅員 : W=5.5(7.0)m
- 事業期間 : 平成14年度～令和6年度(変更なし)
- 全体事業費 : (前回評価時) 6,370百万円
(今回評価時) 6,700百万円
- 進捗率 : 75.2% (事業費ベース)
- 備考 : H19.2月に900mの部分供用を開始

標準断面図



2 事業の進捗状況等①

(1) 事業の進捗状況【事業期間】

平成19年度 終点側900mの部分供用開始 (写真①)

令和元年度 8号橋上部工工事完成 (写真②)

令和2年度 4号トンネル掘削工事に着手 (写真③)

令和3年度 4号トンネル掘削状況 (写真③)
進捗状況 : 590m/1,034m (57%)

令和6年度 事業完了予定



順調に工事が進んでおり、事業完了の目処が立っている。→中項目評価 : a

2 事業の進捗状況等②

(2) 事業計画の変更の有無及び内容【事業費】

増額費用	330 百万円
①重金属対策による増額	120 百万円
ア. ボーリング調査の実施	65 百万円
イ. 要対策土への対応	55 百万円
②支保工の変更による増額	210 百万円

①重金属対策による増額（120百万円）

ア. ボーリング調査の実施（65百万円）

自然由来の重金属が発生する可能性があったため実施

イ. 要対策土への対応（55百万円）

- ・ 処理設備の設置
- ・ 対策工の実施

②支保工の変更による増額（210百万円）

掘削において、脆弱な地層が確認されたことに伴い、支保工を変更し対応

金額は増額となるものの、事業内容等に大幅な変更はない。→中項目評価：b

中項目評価「a」、 「b」であることから、大項目評価は「A」とする。

3 社会経済情勢等の変化①

(1) 事業に関する社会経済情勢

本県内および施工地域において、見直しの検討は無い。→中項目評価：a

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 (H14)	前回再評価時 (H28) 《A》	今回再評価時 (R3) 《B》	増減 《B-A》	備考
必要性	道路構造令等の問題点、事故率、 過疎地域等の振興	30点	21点	20点	20点	0点	
重要性	ネットワークの位置付け、産業振 興、生活支援	20点	13点	16点	16点	0点	
緊急性	関連事業、通行危険箇所等、部分 供用、迂回路	15点	10点	10点	10点	0点	
効率性	費用便益比 (B/C)	20点	18点	0点	0点	0点	B/C=0.4
熟度	用地取得の進捗状況、地元要望	15点	15点	15点	15点	0点	
合計		100点	77点	61点	61点	0点	今回評価/前回評価=100%

各評価指標の評点に増減は無いが、B/Cは0.6未満である。→中項目評価：c

3 社会経済情勢等の変化②

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

状況	・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分：B
	・ 希少野生動植物生息の有無：有（植物）
	・ 埋蔵文化財包蔵地の有無：無
対応	・ 希少野生動植物委員会へ諮問
	町有地の土捨場に生育が確認されたため、移植が必要
	→ <u>工事区域外へ移植を行う</u>
環境配慮	・ 再生アスファルト合材の利用
	・ 切土・盛土の植生化
	・ 猛禽類のモニタリング調査の実施

A: 自然度が高く、かつ偏在する特に重要な植生を含む地域。特に重要な動植物が生息・生育する地域

B: 自然度の高い重要な植生を含む地域。重要な動植物種が生息・生育する地域

C: 里山など二次的自然環境の中でも比較的的自然度が高いと判断される重要な植生を含む地域

D: 里山など二次的自然環境の中でも比較的人為性が強いと判断される環境を含む地域

E: 概ね人為的環境となっている地域

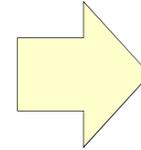
自然環境保全指針に沿って、積極的な対応をしている。→中項目評価：a

中項目評価「a」、 「c」、 「a」であることから、大項目評価は「B」とする。

4 コスト縮減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト縮減対策の実施状況及び今後の可能性

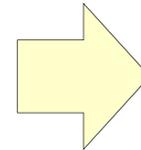
- ・ トンネル照明のLED化



31,000千円の縮減

(2) 代替案立案の可能性

- ・ 用地買収が完了済
- ・ 8号橋上部工が完成済
- ・ 4号トンネルの掘削が順調に進んでいる
- ・ 平成19年度に900mの部分供用を開始



代替案立案の可能性は無い

5 総合評価

着手年度	完了予定年度	全体事業費 (百万円)	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
					進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H14	R6	6,700.0	5,039.0	75.2%	A	a	b	B	a	c	a	61	0.4

①再評価の総括

(1) 事業の進捗状況等 大項目評価：A

総事業費の変更はあるものの、用地取得率は100%であり、900mを部分供用しているほか、主要構造物である4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、令和6年度内での事業完了の目処が立っている。

(2) 社会経済情勢等の変化 大項目評価：B

現道において、度々法面の崩落や積雪による全面通行止めを行っており、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの実現性の確保で大きな影響を及ぼしている。

②対応方針案を「事業継続」した理由

- ・ 用地取得率は100%であり、主要構造物の4号トンネルの掘削が順調に進んでおり、事業期間内での竣工の見通しが立っている。
- ・ 評点については60点以上であり、前回評価からの点数の増減はない。
- ・ 事業全体のB/Cは0.6未満であるものの、法面の崩落や積雪による全面通行止めの影響により、一般の利用者のほか、近隣で行う林業や、観光ルートの実現性の確保を行うことが必要であることから、事業を着実に推進する必要がある。

以上により、事業を着実に推進する必要があることから、「**事業継続**」とした。

令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事務局から5案提示させていただきたい。

①(案の1～4)これまで通り、現地調査を実施。

前提:事前調査(白石峠)は、現地調査を実施。

※ 小谷木橋(事前調査時(H23))、小倉山(前回再評価時(H28))に現地調査実施

<現地調査を実施する場合の行程案>

【案の1】審議案件全てを調査

県庁発(9:45)→白石峠→昼食→小谷木橋→小倉山の2→県庁着(19:10)

【案の2】事前評価(白石峠)及び再評価地区1地区(小谷木橋)を調査

県庁発(9:45)→白石峠→昼食→小谷木橋→県庁着(16:40)

【案の3】事前評価(白石峠)及び再評価地区1地区(小倉山の2)を調査

県庁発(9:45)→白石峠→昼食→小倉山の2→県庁着(18:15)

<昼食をとらない行程(午後のみ)>

【案の4】事前評価(白石峠)のみ調査

県庁発(12:00)→白石峠→県庁着(16:40)

②(案の5)委員から事前に確認箇所等を聴取(書面等)し、会議室にて写真等による確認

<問題点>

①の場合:昼食を伴う場合があること、バスでの長時間の移動等を避けられないこと。

②の場合:写真等での確認に限界があること。

令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案1)

○開催日:令和3年7月19日(月)

○対象事業

- ① 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道107号 白石峠(大船渡市、住田町)
- ② 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道397号 小谷木橋(奥州市)
- ③ 地域連携道路整備事業(地域密着型)主要地方道花巻大曲線 小倉山の2(西和賀町)

○行程

		移動時間		0:05		移動時間		0:40		移動時間		1:00	
始		移動時間	0:15	着	10:00	移動時間	1:40	着	11:45	移動時間	0:10	着	12:35
	県庁				盛岡駅				住田町				住田町
	車庫前								現地調査				昼食
	出発								白石峠				
発	9:45	発		発	10:05	発		発	12:25	発		発	13:35
		移動時間		0:40		移動時間		0:40		移動時間		0:05	
移動時間	1:00	移動時間	1:35	移動時間	1:20	移動時間	0:15	着	14:35	移動時間	0:15	着	19:10
	奥州市				西和賀町				盛岡駅				県庁
	現地調査				現地調査								帰庁
	小谷木橋				小倉山の2								
発	15:15	発		発	17:30	発		発	18:55	終		終	

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案2)

○開催日:令和3年7月19日(月)

○対象事業

- ① 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道107号 白石峠(大船渡市、住田町)
- ② 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道397号 小谷木橋(奥州市)

○行程

		移動時間		0:05		移動時間		0:40		移動時間		1:00	
始		移動時間	0:15	着	10:00	移動時間	1:40	着	11:45	移動時間	0:10	着	12:35
	県庁				盛岡駅				住田町				住田町
	車庫前								現地調査				昼食
	出発								白石峠				
発	9:45	発		発	10:05	発		発	12:25	発		発	13:35
		移動時間		0:40		移動時間		0:05		移動時間		0:15	
移動時間	1:00	移動時間	1:05	移動時間	0:15	着	14:35	着	16:20	着	16:40	着	
	奥州市						盛岡駅						県庁
	現地調査												帰庁
	小谷木橋												
発	15:15	発		発	16:25	終		終		終		終	

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案3)

○開催日:令和3年7月19日(月)

○対象事業

- ① 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道107号 白石峠(大船渡市、住田町)
- ② 地域連携道路整備事業(地域密着型)主要地方道花巻大曲線 小倉山の2(西和賀町)

○行程

		移動時間		0:05		移動時間		0:40		移動時間		1:00	
始		移動時間	0:15	着	10:00	移動時間	1:40	着	11:45	移動時間	0:10	着	12:35
	県庁				盛岡駅				住田町				住田町
	車庫前								現地調査				昼食
	出発								白石峠				
発	9:45	発		発	10:05	発		発	12:25	発		発	13:35
		移動時間		0:40		移動時間		0:05		移動時間		0:15	
移動時間	2:20	移動時間	1:20	移動時間	0:15	移動時間	0:15	着	15:55	着	17:55	着	18:15
					西和賀町				盛岡駅				県庁
					現地調査								帰庁
					小倉山の2								
発	16:35	発		発	18:00	終							

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和3年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程(案4)

○開催日:令和3年7月19日(月)

○対象事業

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)国道107号 白石峠(大船渡市、住田町)

○行程

		移動時間		0:05				移動時間		0:40				移動時間		0:05	
		移動時間	0:15	移動時間	1:40			移動時間	1:40	移動時間	1:40						
始			着	12:15		着	14:00		着	16:20							
県庁		盛岡駅		住田町		現地調査		白石峠		盛岡駅							
車庫前																	
出発																	
発	12:00	発	12:20	発	14:40	発	16:25										

移動時間	0:15	着	16:40				
県庁		帰庁					
終							

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。